



TOKYO 2020

東京2020 第43回理事会 資料

決議事項



事務局規程等の改正

2021年3月22日

事務局規程の改正 <会場等運営の体制>

1 目的

円滑な大会運営を行うため、会場等の運営の責任者であるベニューゼネラルマネージャーやFAヘッド等を規程上に位置づけ、一定の決定権限を付与することができるようにする。

2 主な改正内容

- 事務局規程第6章を新設
 - ・ 事務総長は、会場等運営責任者（競技会場、非競技会場及びファシリティを運営する責任者）とFA運営責任者（ファンクショナルエリアを運営する責任者）を任命することができる旨を規定
 - ・ 事務総長は、円滑な会場等の運営に必要と認めるときは、会場等運営責任者又はFA運営責任者（それぞれ特別職又は幹部職に限る）に対し、事務総長、局長級、部長級及び課長級が決定すべき権限の一部※を付与することができる旨を規定 ※権限付与可能な事案については次頁のとおり。
 - ・ 上記の権限付与は、原則、2021年4月1日から2021年9月30日までの期間の事案を対象とする旨を規定

3 施行予定日

2021年4月1日

事務局規程の改正〈会場等運営の体制〉

【会場等運営責任者及びF A運営責任者※1への権限付与可能な事案】

1 会場等運営責任者（ベニューゼネラルマネージャー等）

権限付与可能な事案

1	その所管する会場等（以下「所管会場等」）における事務事業に関する事案
2	所管会場等で業務を行う職員の出張、休暇、欠勤等に関する事案
3	所管会場等の運営に必要となる、予定価格が一定額（500万円を予定※2）未満※3の請負契約又は委託契約に関する事案
4	所管会場等の運営に必要となる、予定価格が一定額（500万円を予定※2）未満※3の物件の買入れ、借入れに関する事案

2 F A運営責任者（F Aヘッド等）

権限付与可能な事案

1	所管F Aにおける事務事業に関する事案
2	所管F Aの運営に必要となる、予定価格が一定額（2億円を予定※2）未満の請負契約又は委託契約に関する事案
3	所管F Aの運営に必要となる、予定価格が一定額（6000万円を予定※2）未満の物件の買入れ、売払い、借入れ及び貸付に関する事案
4	所管F Aの運営に必要となる、一定額（6000万円を予定※2）未満の補助金、分担金及び寄付金の支出に関する事案

※1 権限付与の対象は、それぞれ特別職又は幹部職でこれらの責任者に任命されたものに限る。

※2 「一定額」については、別途細則で定めるものとしている。

※3 各会場等に100万円以上500万円未満の間で予算配分を行い、その範囲内で執行可能とする予定。

給与規程の改正〈通信手当〉

1 目的

大会直前の短期雇用職員には業務用携帯電話を貸与せず、個人の携帯電話を活用し、法人契約の通話アプリを導入する。

そのため、個人負担となるアプリ利用にかかるパケット通信料について、毎月1,100円を通信手当として支給する。

2 主な改正内容

- 給与規程第12条を新設
 - ・ 通信手当支給に関する規定を新設

3 施行予定日

2021年4月1日

育児・介護休業規程の改正

1 目的

育児・介護休業法の改正（令和3年1月1日施行）に伴い、育児や介護が必要な時期に、離職することなく働き続けることができ、仕事と家庭の両立を可能とするため、雇用環境の整備を行う。

2 主な改正内容

- 育児・介護休業規程第10条第2項を改正
 - ・ 子の看護休暇について時間単位で取得可能とする旨を規定

- 育児・介護休業規程第11条第2項を改正
 - ・ 介護休暇について時間単位で取得可能とする旨を規定

3 施行予定日

2021年4月1日



2021年度事業計画書案について

2021年3月22日

2021年度 事業計画書の概要（案）

- 最優先課題である安全・安心な環境の提供、ジェンダー平等の推進、史上初の大会延期の経験を踏まえた「東京モデル」の将来への継承の3つを重点施策とし、これまでの準備の集大成として大会本番に臨む。
- 東京2020大会が多くの人々に歓迎され、アスリートが最高のパフォーマンスを発揮し、輝ける舞台となるよう、ボランティアも含めたオールジャパンの協力体制のもと、一丸となって取り組む。
- 大会後速やかに全ての業務を遅滞なく完了するため、大会後を見据えて、計画的かつ迅速、的確に業務を遂行していく。



柱	主な計画事業
1 安全・安心を最優先とする大会運営と大会後の取組	<p>(1) 新型コロナウイルス感染症対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アスリート、大会関係者、観客といったステークホルダーごとに、新型コロナウイルス感染症対策を検討・実施し、アスリート等の安全・安心を確保しながら大会を運営 ・MOC（メインオペレーションセンター）内に「組織委員会感染症対策センター（仮称）」を設置し、大会に係る感染症対策を一元的に推進 <p>(2) ジェンダー平等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務総長直轄の「ジェンダー平等推進チーム」を中心に取組を実施 <p>(3) 聖火リレーの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「コロナ事態対応チーム」を中心に緊急時への対応等を行うことにより、聖火リレー関係者と地域住民双方の安全・安心を確保しながら、オリンピック及びパラリンピックの聖火リレーを実施 <p>(4) セレモニーの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8つのコンセプトや4つの式典の統一性を念頭に置いた開会式・閉会式を実現 <p>(5) 安全・安心な競技環境の構築と会場サービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競技団体と連携し、安全・安心な競技環境を構築 ・大会時の確実なオペレーションの実践により、円滑な競技会場の運営を実施 ・検査員等によるドーピング検査の実施等を通じて、アンチドーピング活動を展開 ・選手村において、アスリートに安全・安心で快適なサービスを提供 ・栄養面に配慮した食事や被災地食材を活用したメニューの提供等、ステークホルダーごとに適切な飲食を提供

- ・ 会場医務室や選手村総合診療所等での診療、大会指定病院等への患者搬送など、適切に医療サービスを提供
- ・ 各ステークホルダー向けに、施設設備、飲料供給、予防・救護運営、情報発信の各観点から暑さ対策を実施

(6) ボランティアへの研修等の実施

- ・ 必要な知識を習得するための各種研修やユニフォームの配布を実施

(7) アクセシビリティの確保

- ・ ハード・ソフト両面におけるアクセシブルな環境整備の推進

(8) パラリンピック競技大会の成功に向けた準備・実行

- ・ パラリンピック選手や関係者等が大会で必要とする環境を提供するための運営計画を深度化
- ・ オリンピックからの移行や大会時のパラリンピックの実行体制を構築
- ・ パラリンピック特有の価値を伝え、共生社会の深化を目指していくことを継続して発信
- ・ 東京 2020 大会のパラリンピックの計画策定や準備活動、運営実績などに関する知識継承を実施

(9) 国際的な連携強化、NOC/NPCへのサポート

- ・ オリンピック・パラリンピックファミリーに対し、適切なレベルのサービスを提供
- ・ 要人プログラム、プロトコル・サービスの推進
- ・ 北京 2022 組織委員会、パリ 2024 組織委員会等への学習機会の提供
- ・ NOC/NPCサービスセンターの運営、選手団団長会議の開催

(10) 世界に誇る安全及びセキュリティの確保

- ・ 「警備ガイドライン」に基づき、会場の特性等を踏まえた各競技会場等の警備計画を策定、実施
- ・ 警備会社が参加するJV（共同企業体）との基本契約に基づき、会場毎の警備業務委託契約を締結
- ・ 顔認証システム等の先進技術の活用、各種研修やe-learning等を通じた警備員に対する教育・訓練の実施
- ・ 大会警備本部や会場警備本部を稼働させ、警備業務を実施することで、大会の安全を確保
- ・ テロ等を想定した各種訓練の実施により、対応力の強化を図り、万全な初動対処体制を確立
- ・ CIRT2020（サイバーインシデント対処チーム）の運用

(11) 大会運営の効率化に向けたテクノロジーの導入

- ・ テクノロジー関連サービスの導入・運営、大会関係者の健康状態等を管理する情報システム等の設計・構築・運営、各会場で利用する通信サービスや通信環境の構築・運用
- ・ 大会公式ウェブサイトやモバイルアプリなどの観客向け大会情報システムを構築し、安定した運用を実現
- ・ テクノロジー全般の安定運用のためテクノロジーオペレーションセンターを運営
- ・ 大会後に必要なテクノロジー環境への移行

(12) 安全・安心かつ、効率的で信頼性の高い大会輸送及び宿泊の提供等

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策の検討を踏まえ、安全・安心かつ信頼性の高い輸送サービスを提供
- ・ 大会関係者に対する宿泊、空港サービスの提供
- ・ 大会期間中に必要な物品に係る効率的な物流サービスの提供のための主要なサプライチェーンを構築

(13) 大会閉会後の取組

- ・ 大会後を視野に入れて計画を立て、大会後の各種報告業務や資産物品の会場からの撤去などについて適切に進行管理を行い、業務を迅速かつ的確に遂行。

<p>2 会場及び施設整備の着実な実施と速やかな撤去解体等</p>	<p>(1) 会場の整備調整</p> <ul style="list-style-type: none"> 仮設オーバーレイ設置工事を期限内に安全かつ確実に行うとともに、大会後は期限内に施設等を原状復旧 仮設オーバーレイ物品の有効活用を図るため、工期等に影響しないものについて引渡しを実施 <p>(2) 大会需要を踏まえた電力インフラの整備調整</p> <ul style="list-style-type: none"> エネルギーオペレーションセンターを設置し、安定したエネルギー供給体制を構築
<p>3 大会開催の機運醸成と大会の記録・記憶の承継</p>	<p>(1) 大会ビジョンの具現化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 「アクション&レガシープラン」の展開 「東京 2020 参画プログラム」、「東京 2020 NIPPON フェスティバル」の実施 簡素化及び安全・安心の観点から、イノベティブな大会の実現に向け施策をブラッシュアップ 「持続可能性大会後報告書」の作成、ISO20121 の運用の継続的改善 大会資料の継承・保管に向けた準備 <p>(2) マーケティングを活用したオリンピック・パラリンピックムーブメントの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> チケット販売・事業運営について、状況に応じた様々な施策・対応等を実施 東京 2020 大会ブランドの展開、クリーンベニューポリシーの実行などによる大会ブランド管理の徹底 スポンサーシッププログラムの推進、ライセンスプログラムの展開 <p>(3) 積極的広報とエンゲージメントの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染症拡大防止対策を含む安全・安心な大会運営について継続的に発信 大会用のウェブサイト及びモバイルアプリを7か国語で展開、SNSを10か国語で展開 オリンピックの大会公式映画の制作、IPCとNHKによるパラリンピックの大会公式映画制作の支援
<p>4 オールジャパンの連携と事務局体制の強化</p>	<p>(1) オールジャパンの協力体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 都、国、関係自治体等との連携を強化 復興を後押しするとともに、復興の姿を発信するべく、被災3県と連携しながら、様々な取組を実施 全国約800の連携大学へ様々な情報を提供するとともに、連携大学や学生による自主的な取組を支援 <p>(2) 効率的かつ大会実務に即した執行体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 意思決定と情報公開の適切な推進 大会運営時の情報共有や重要事案に係る方針の取りまとめを行うメインオペレーションセンターを運営 各会場においてVGM（ベニューゼネラルマネージャー）を中心とした連携体制を強化するとともに、新型コロナウイルス感染症対策に要する人員の体制を整備 大会終了後も引き続く業務を着実に処理できるよう、効率的な組織体制を構築 ジェンダー平等・障がい者等に関する理解促進のための研修を行い、多様な人材が活躍できる職場環境を整備 e-learning等の実施によるガバナンスの推進
<p>5 大会を支える確実な財務運営</p>	<p>(1) 大会成功へ向けた計画的な財務運営</p> <ul style="list-style-type: none"> 予算マネージャーを中心に、迅速かつ適切に執行管理を実施 大会終了後、全ての債権債務を迅速に確定させるとともに、調達した資産物品を適切に処分 <p>(2) 最適調達の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> 大会後費用も含めた総費用の低減及び適正な調達手続の確保



2021年度予算案について

2021年3月22日

組織委員会 2021年度予算概要キャッシュフローベース（案）

（単位：億円）

項目	組織委	主な内容
ハード（会場整備）	665.4	
仮設等	519.5	・ 競技会場等における仮設オーバーレイの整備・撤去 等
エネルギー インフラ	145.9	・ 競技会場等における仮設電源設備の整備・撤去 等
ソフト（大会運営）	2,546.7	
輸送	405.3	・ 大会関係者輸送用バスの車両調達・運用及び運行管理 ・ 大会関係者輸送用フリート（乗用車）の車両調達・運用及び運行管理 等
セキュリティ	308.2	・ 民間警備会社による施設警備 ・ 警備資機材の調達 等
テクノロジー	169.7	・ 大会情報の配信、大会運営に関する各種システムの整備 ・ 通信インフラの整備 ・ 映像用回線ルートの整備 等
オペレーション	1,019.7	・ 会場・競技運営、競技用備品の調達、競技プレゼンテーションの実施 ・ ドーピング検査、飲食の提供、選手村の運営及び維持管理 ・ 聖火リレー、開閉会式の運営 等
管理・広報等	436.5	・ 広報活動、文化プログラムの展開 ・ 人件費・賃料 等
マーケティング	207.3	・ 収入連動経費（ロイヤルティ等） ・ チケットオペレーションの実施 等
計	3,212.1	

共同実施事業 2021年度予算概要キャッシュフローベース（案）

（単位：億円）

項目	東京都(国分を含む)	主な内容(パラリンピック経費を含む)
ハード(会場整備)	1,416.6	
仮設等	1,187.7	・ 競技会場等における仮設オーバーレイの整備・撤去 等
エネルギー インフラ	228.9	・ 競技会場等における仮設電源設備の整備・撤去 等
ソフト(大会運営)	985.8	
輸送	267.7	・ オリンピック/パラリンピック・ルートネットワークの整備 ・ 車両デポ・ハブ等の整備 等
セキュリティ	366.8	・ 民間警備会社による施設警備 ・ 統合映像監視システムの構築 ・ 来場者、関係者に対するスクリーニング機器等の設置 等
テクノロジー	131.0	・ 通信インフラの整備 ・ 映像用回線ルートの整備 ・ 大型映像装置の設置 等
オペレーション	217.8	・ 会場・競技運営、競技用備品の調達、競技プレゼンテーションの実施 ・ 飲食の提供 ・ 選手村の運営及び維持管理 等
管理・広報等	2.5	・ 各種パンフレット等の作成 等
緊急対応費	100.0	
新型コロナウイルス 感染症対策関連	950.0	・ アスリート等を対象とした検査体制等の整備 ・ その他の感染防止のための対応
計	3,452.4	

※ 都が直接執行する事業を除く

2021年度 正味財産増減予算書(案)

2021年4月1日から2022年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 事業収益	163,107,422	35,383,578	198,491,000
マーケティング収益	29,003,422	35,383,578	64,387,000
I O C 分担金	39,362,000	0	39,362,000
チケット収益	90,000,000	0	90,000,000
その他収益	4,742,000	0	4,742,000
② 受取補助金	0	1,021,000	1,021,000
スポーツ振興くじ助成金(toto)	0	1,021,000	1,021,000
③ 受取負担金	468,236,674	0	468,236,674
受取負担金振替額	468,236,674	0	468,236,674
経常収益計	631,344,096	36,404,578	667,748,674
(2) 経常費用			
① 事業費用	788,726,221		788,726,221
役員報酬	29,760		29,760
給料手当	2,686,101		2,686,101
超過勤務手当	455,764		455,764
法定福利費	1,603,640		1,603,640
福利厚生費	1,281,480		1,281,480
賞与引当金繰入	110,232		110,232
会議費	45,141		45,141
旅費	69,084		69,084
滞在費	14,137,519		14,137,519
通信費	46,056		46,056
通運費	1,079,910		1,079,910
減価償却費	352,608,614		352,608,614
消耗品費	11,730,501		11,730,501
印刷製本費	846,841		846,841
光熱水費	9,094,804		9,094,804
賃借料	50,490,043		50,490,043
広告宣伝費	1,594,737		1,594,737
渉外費	210,249		210,249
委託費	323,907,214		323,907,214
支払手数料	11,632,060		11,632,060
支調査費	4,311,377		4,311,377
雑費	726,901		726,901
管理費	28,193		28,193
② 管 理 費		36,404,578	36,404,578
役員報酬		13,440	13,440
給料手当		268,905	268,905
超過勤務手当		45,626	45,626
法定福利費		160,540	160,540
福利厚生費		128,288	128,288
賞与引当金繰入		11,035	11,035
理事會費		25,151	25,151
委員會費		16,524	16,524
旅費		887,922	887,922
通信費		89,383	89,383
通運費		20,233,277	20,233,277
減価償却費		360,307	360,307
消耗品費		679,288	679,288
光熱水費		1,928,469	1,928,469
賃借料		387,820	387,820
保険料		904	904
渉外費		9,302,554	9,302,554
顧問料		386,777	386,777
租税公課		24,414	24,414
支払手数料		1,162,124	1,162,124
支調査費		27,447	27,447
雑費		263,452	263,452
費		931	931
経常費用計	788,726,221	36,404,578	825,130,799
当期経常増減額	△ 157,382,125	0	△ 157,382,125
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 157,382,125	0	△ 157,382,125
一般正味財産期首残高	160,000,000	0	160,000,000
一般正味財産期末残高	2,617,875	0	2,617,875
II. 指定正味財産増減の部			
共同実施事業負担金	345,236,674	0	345,236,674
収支調整額負担金	15,000,000	0	15,000,000
一般正味財産への振替額	△ 468,236,674	0	△ 468,236,674
当期指定正味財産増減額	△ 108,000,000	0	△ 108,000,000
指定正味財産期首残高	108,000,000	300,000	108,300,000
指定正味財産期末残高	0	300,000	300,000
III. 正味財産期末残高	2,617,875	300,000	2,917,875

※借入れ限度額は10億円とする。

資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類（案）
（2021年4月1日から2022年3月31日まで）

- 1 資金調達の見込みについて
なし
- 2 設備投資の見込みについて
選手村ほか44会場等にかかる建物付属設備等（170,763,239千円）を予定している。

[主な内訳]

		(単位：千円)
	項目	金額
1	仮設・オーバーレイ（選手村250.5億円、IBC/MPC148.6億円等）	132,001,041
2	輸送施設（トランスポートデポ、ハブの整備等）	20,785,169



TOKYO 2020

東京2020 第43回理事会 資料

報告事項



東京2020オリンピック聖火リレーの 新型コロナウイルス感染症対策について

2021年3月22日

東京2020オリンピック聖火リレー 各都道府県 実施日一覧 (2021年)

都道府県名	日 程	都道府県名	日 程	都道府県名	日 程
① 福島県	3/25(木)～3/27(土)	①7 鹿児島県	4/27(火)～4/28(水)	③3 富山県	6/2(水)～6/3(木)
② 栃木県	3/28(日)～3/29(月)	①8 沖縄県	5/1(土)～5/2(日)	③4 新潟県	6/4(金)～6/5(土)
③ 群馬県	3/30(火)～3/31(水)	①9 熊本県	5/5(水)～5/6(木)	③5 山形県	6/6(日)～6/7(月)
④ 長野県	4/1(木)～4/2(金)	②0 長崎県	5/7(金)～5/8(土)	③6 秋田県	6/8(火)～6/9(水)
⑤ 岐阜県	4/3(土)～4/4(日)	②1 佐賀県	5/9(日)～5/10(月)	③7 青森県	6/10(木)～6/11(金)
⑥ 愛知県	4/5(月)～4/6(火)	②2 福岡県	5/11(火)～5/12(水)	③8 北海道	6/13(日)～6/14(月)
⑦ 三重県	4/7(水)～4/8(木)	②3 山口県	5/13(木)～5/14(金)	③9 岩手県	6/16(水)～6/18(金)
⑧ 和歌山県	4/9(金)～4/10(土)	②4 島根県	5/15(土)～5/16(日)	④0 宮城県	6/19(土)～6/21(月)
⑨ 奈良県	4/11(日)～4/12(月)	②5 広島県	5/17(月)～5/18(火)	④1 静岡県	6/23(水)～6/25(金)
⑩ 大阪府	4/13(火)～4/14(水)	②6 岡山県	5/19(水)～5/20(木)	④2 山梨県	6/26(土)～6/27(日)
⑪ 徳島県	4/15(木)～4/16(金)	②7 鳥取県	5/21(金)～5/22(土)	④3 神奈川県	6/28(月)～6/30(水)
⑫ 香川県	4/17(土)～4/18(日)	②8 兵庫県	5/23(日)～5/24(月)	④4 千葉県	7/1(木)～7/3(土)
⑬ 高知県	4/19(月)～4/20(火)	②9 京都府	5/25(火)～5/26(水)	④5 茨城県	7/4(日)～7/5(月)
⑭ 愛媛県	4/21(水)～4/22(木)	③0 滋賀県	5/27(木)～5/28(金)	④6 埼玉県	7/6(火)～7/8(木)
⑮ 大分県	4/23(金)～4/24(土)	③1 福井県	5/29(土)～5/30(日)	④7 東京都	7/9(金)～7/23(金)
⑯ 宮崎県	4/25(日)～4/26(月)	③2 石川県	5/31(月)～6/1(火)		

東京2020パラリンピック聖火リレー 2021年実施スケジュール

8月

月	火	水	木	金	土	日
2	3	4	5	6	7	8
						オリンピック 閉会式
9	10	11	12	13	14	15
			▲ 聖火 フェスティバル	▲ 聖火 フェスティバル	▲ 聖火 フェスティバル	▲ 聖火 フェスティバル
			43道府県 採火 聖火ビジット 出立	43道府県 採火 聖火ビジット 出立	43道府県 採火 聖火ビジット 出立	43道府県 採火 聖火ビジット 出立
16	17	18	19	20	21	22
▲ 聖火 フェスティバル	● 聖火 フェスティバル	● 聖火 フェスティバル	● 聖火 フェスティバル	● 聖火 フェスティバル	★ 開催都市内 聖火リレー	★ 開催都市内 聖火リレー
43道府県 採火 聖火ビジット 出立	競技開催都県 (静岡県) 採火 聖火ビジット 聖火リレー 出立	競技開催都県 (千葉県) 採火 聖火ビジット 聖火リレー 出立	競技開催都県 (埼玉県) 採火 聖火ビジット 聖火リレー 出立	競技開催都県 (東京都) 採火 聖火ビジット 聖火リレー ■ 集火式	開催都市 (東京都) 聖火リレー セレブレーション	開催都市 (東京都) 聖火リレー セレブレーション
				開催都市 (東京都)		
23	24	25	26	27	28	29
★ 開催都市内 聖火リレー	★ 開催都市内 聖火リレー					
開催都市 (東京都) 聖火リレー セレブレーション	開催都市 (東京都) 聖火リレー パラリンピック 開会式					

実施スケジュール

- 8/12(木)～16(月) **43道府県**
採火 ⇒ 聖火ビジット(任意) ⇒ 出立
- 8/17(火)～20(金) **競技開催4都県**
(静岡県、千葉県、埼玉県、東京都)
採火 ⇒ 聖火ビジット(任意)
⇒ **聖火リレー** ⇒ 出立 ※3県から
- 8/20(金) 夜 **集火式**
- 8/21(土)～24(火) **東京都**
開催都市内聖火リレー

パラ聖火リレーは計8日間

▲ 聖火フェスティバル(43道府県)	8/12～16	(5日間)
● 聖火フェスティバル(競技開催都県)	8/17～20	(各1日間)
■ 集火式(東京都)	8/20	(夜)
★ 開催都市内聖火リレー(東京都)	8/21～24	(4日間)
◆ ストーク・マンデビル 採火式	未定	

1. 東京2020オリンピック聖火リレーの新型コロナウイルス感染症対策

2021年3月25日からスタートするオリンピック聖火リレーについては、聖火リレーを実施する当該都道府県の新型コロナウイルス感染症の感染状況等を踏まえ、観覧客・聖火ランナー・運営スタッフをはじめとする聖火リレー関係者と地域住民双方の感染防止に努め、**安全・安心な東京2020オリンピック聖火リレーを実現するため、以下のような新型コロナウイルス感染症対策をとりながら実施します。**

【東京2020オリンピック聖火リレーの新型コロナウイルス感染症対策】

- ① 3密（密閉・密集・密接）の回避
- ② 飛沫感染・接触感染防止
- ③ 殺菌・消毒の徹底
- ④ 体調管理・確認の徹底
- ⑤ 広報・周知の徹底
- ⑥ 陽性者・体調不良者発生時等の対応計画の作成

※ 詳しくは、「東京2020オリンピック聖火リレーにおける新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン」に記載。（なお、東京2020パラリンピック聖火リレーも、「東京2020パラリンピック聖火リレーにおける新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン」に沿って、同様の感染症対策を実施する予定）

2. 聖火リレーの沿道における観覧についての注意事項

聖火リレーの沿道における観覧については、以下の注意事項の遵守を呼びかけます。

- 体調が悪い場合や感染が疑われる場合（※下記を参照）は、観覧をお控えください。
- 沿道で観覧される場合は、お住まいに近い場所でご観覧ください。特に、お住まいの都道府県以外での観覧はお控えください。
- 沿道では、マスクの着用をお願いします。
- 大声を出さずに、拍手による応援や、配布グッズ等を活用した応援をお願いします。
- 観覧時は前後左右の方と適切な距離を取ってご観覧ください。過度な密集が生じた場合は、リレーを中断する場合がありますので、ご了承ください。
- 沿道における聖火ランナーの走行の様子は、聖火リレー期間中は毎日インターネットのライブ中継で視聴していただくことが可能ですので、沿道の密集を避けるために、なるべくライブ中継でご覧いただきますようお願いいたします。（NHKの聖火リレーライブストリーミング特設サイト <https://nhk.jp/torch>にてご覧いただけます。但し、全ての聖火ランナーを配信できるとは限りません。）
- 聖火リレー実施後2週間以内に、新型コロナウイルス感染症に感染した場合、医療機関に相談の上、組織委員会に速やかにご報告ください。

※体調が悪い場合や感染が疑われる場合（以下のページでも同様）

- 平熱を超える発熱 ・ 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状 ・ だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
- 嗅覚や味覚の異常 ・ 体が重く感じる、疲れやすい等 ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- 聖火ランナー、出演者・パフォーマー、運営スタッフについては、体調管理に応じない、または適切に健康管理がされていないと判断した場合

3. セレモニー観覧についての注意事項

セレモニー（セレブレーション、出発式、ミニセレブレーション）観覧については、以下の注意事項の遵守を呼びかけます。

- 体調が悪い場合や感染が疑われる場合（※2ページ参照）は、入場することはできません。
- 受付時の検温と手指消毒にご協力ください。体温が37.5度以上ある方は、観覧できません。
- マスクの着用をお願いします。（マスクを着用しない方は、入場をお断りする場合があります）
- 大声を出さずに、拍手による応援をお願いします。
- 人が密集している場所での観覧は、ご遠慮ください。
- 聖火リレー実施後2週間以内に、新型コロナウイルス感染症に感染した場合、医療機関に相談の上、都道府県実行委員会に速やかにご報告ください。
- セレブレーションは、原則として事前予約制といたしますので、当日の参加申し込みはできませんので、お気を付けください。出発式、ミニセレブレーションについても、人数制限を行う場合がありますので、都道府県聖火リレー実行委員会にお問い合わせください。

4. 感染予防への取組（聖火ランナー）

聖火ランナーには、以下の感染予防策を遵守していただきます。

(1) 実施前の体調管理・行動管理の遵守

- ・実施2週間前から当日までの間、会食をしない、密集する場所への外出を避けるなど、新型コロナウイルス感染リスクの高い行動をご遠慮ください。
- ・実施2週間前から当日までの間、体調管理チェックシート（3月上旬以降、東京2020組織委員会公式ウェブサイトに掲載予定）への記入をお願いします。
- ・体調が悪い場合や感染が疑われる場合（※2ページ参照）は、速やかに、保健所や診療所に報告・相談をお願いします。
- ・保健所及び診療所との相談により新型コロナウイルス感染の可能性があります、PCR検査等を受診することが決まった際は、速やかに組織委員会へご連絡ください。その上で、PCR検査が陽性だった場合は、検査結果を速やかに組織委員会に報告し、参加を見合わせていただきますようお願い申し上げます。（陰性の場合は、体調の回復状態を踏まえ、判断させていただきます。）
- ・走行時点において緊急事態宣言又はまん延防止等重点措置が実施されている都道府県又は市区町村に居住しており、都道府県境を越えて走行する聖火ランナーについては、走行1週間前以内のPCR検査又は抗原定量検査を推奨します。検査費用については組織委員会が負担します。
- ・海外から日本に入国する聖火ランナーについては、その時点における日本政府の入国管理方針に従っていただきます。

(2) 実施当日の遵守事項

- ・当日、体調が悪い場合や感染が疑われる場合（※2ページ参照）は、速やかにご連絡の上、参加はお見合わせください。
- ・受付時の検温と手指消毒にご協力ください。体温が37.5度以上あり、日陰で一定時間休んで再度検温しても37.5度以上の発熱がある場合は、参加を見合わせていただきますようお願い申し上げます。
- ・体調管理チェックシートのご提示をお願いします。記載内容に不備がある場合や、事実と相違がある場合等は、参加を見合わせていただく場合があります。
- ・マスクをご着用ください。（ただし、走行時においては、一定の距離を確保した上で、マスクを着用しないことを可能とします。）
- ・受付時や、バスの車内における大声での会話は、ご遠慮ください。
- ・聖火リレー実施後2週間以内に、新型コロナウイルス感染症に感染した場合、医療機関に相談の上、組織委員会に速やかにご報告ください。

5. 感染予防への取組（運営スタッフ）

オリンピック聖火リレーの運営スタッフは、以下の感染予防策を遵守します。

- 業務に従事する2週間前から、体調管理チェックシートと行動記録表を作成する。
- 業務に従事する2週間前から、毎朝検温を実施し、体調が悪い場合や感染が疑われる場合（※2ページ参照）は、速やかに運営責任者に報告する。（その場合、運営責任者は、当該スタッフに、業務に従事せず、自主隔離する指示を出す。）
- できる限り同じ席での食事は控えるものとする。同じ席で食事する場合は、対面での着席は避けるとともに、会話は一切しないものとする。
- 常にマスクを着用し、手指消毒の実施を徹底する。
- 車両乗車時は、こまめな換気及び不要な会話を控えることを徹底する。
- 一人部屋での宿泊を原則とするが、複数人相部屋の場合は、部屋でもマスク着用とする。
- 業務開始2週間前から業務実施当日にかけて、休務日や業務終了後など業務時間外にも、3密が予想される場所（密集が予想される飲食店や娯楽施設等）には行かないことを徹底する。
- 長期間業務に従事する運営スタッフは、定期的にスクリーニング検査を受けるものとする。

6. その他

- 個別の都道府県における聖火リレーの実施については、当該都道府県の新型コロナウイルス感染症の感染状況等を踏まえ、実施形態を変更する場合があります。
- 具体的には、当該都道府県に緊急事態宣言や不要不急の外出自粛要請が発出されているなどの場合は、必要に応じて、都道府県内における公道での聖火リレーを見合わせ、セレブレーション会場における無観客（関係者を除く）での点火セレモニーのみを実施する措置を行う場合があります。
- 実施形態を変更する場合、都道府県実行委員会には、県内への周知が滞りなく実施されるようご協力をお願いする予定です。

安全・安心な聖火リレーの実施に向けた 新型コロナウイルス感染症への事態対応の考え方

東京2020組織委員会 聖火リレー・コロナ事態対応チーム
2021年3月16日（火）

TOKYO 2020

目次

1. はじめに
2. 基本的な考え方
3. 沿道観覧客への対応
4. 体調管理・スクリーニング検査
5. 関係ステークホルダーへの情報共有
6. 適時適切な情報発信

TOKYO 2020

1. はじめに

組織委員会では、新型コロナウイルスの影響により大会延期が決まった後から、安全・安心な聖火リレーの実施に向けて、組織委員会内はもとより政府、都道府県とも継続して検討をしていました。その後、2月25日（木）には、聖火リレーにおける新型コロナウイルス感染症対策を公表しました。

そして、1都3県において緊急事態宣言が延長になった中で聖火リレーがスタートすることを踏まえ、聖火リレー・コロナ事態対応チームを発足致しました。

そのもとで、安全・安心な聖火リレーの実施に向けて、改めて新型コロナウイルス感染症への事態対応の考え方をお知らせします。

本資料も含め、今後とも、組織委員会としての考え方などをお示しつつ、各都道府県聖火リレー実行委員会・OTRパートナー他関係者のご意見を踏まえながら、進めていきたいと考えております。宜しくお願い致します。

TOKYO 2020

2. 基本的な考え方

2/25（木） 聖火リレーの新型コロナウイルス感染症対策 公表
3/5（金） 緊急事態宣言延長
同日、聖火リレー・コロナ事態対応チーム発足

○ 分かりやすい具体的な対策を求める声

- ✓ 「密集」とは？
- ✓ 新型コロナ感染予防措置
- ✓ 新型コロナ陽性者が発生した場合の対応

○ 丁寧なコミュニケーション

- ✓ 透明性ある情報提供
 - ・ 関係者との状況共有
 - ・ メディアへの説明

✓ PDCAサイクルの徹底

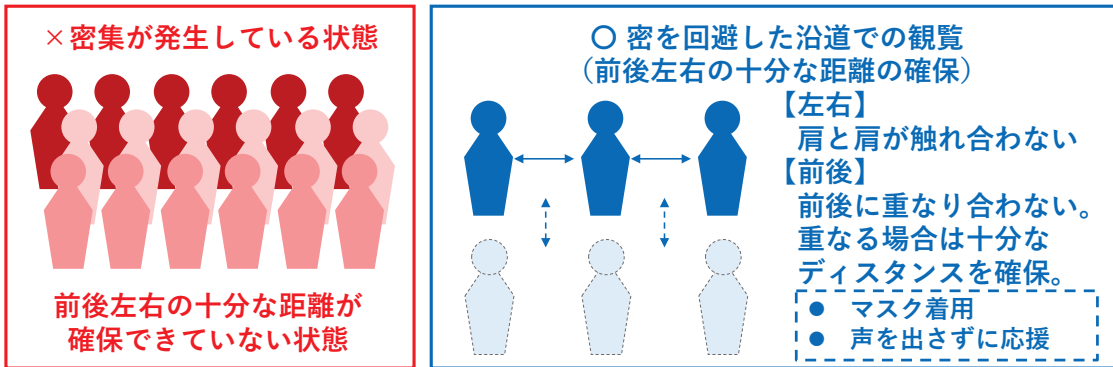
- ・ 具体的で分かり易いルール共有
- ・ 現場・各都道府県実行委員会の判断の尊重
- ・ 4ヶ月の間、事態の推移、現場の状況を踏まえ、柔軟に見直し

TOKYO 2020

3. 沿道観覧客への対応

(1) 「密集」の考え方、沿道観覧客への呼びかけ

- 沿道観覧客の皆様には、フィジカルディスタンスの確保をお願いし、特に密状態での観覧自粛をお願いしていきます。
- 密集の定義を一律に定めるのは困難なところがありますが、例えば注意喚起を行う場合の判断基準として、下記の場合は移動や分散を促してくべきと考えます。
 - 多くの観覧客が肩が触れあう程度に密接している
 - 観覧客が十分な間隔を空けずに複数列に重なり合っている



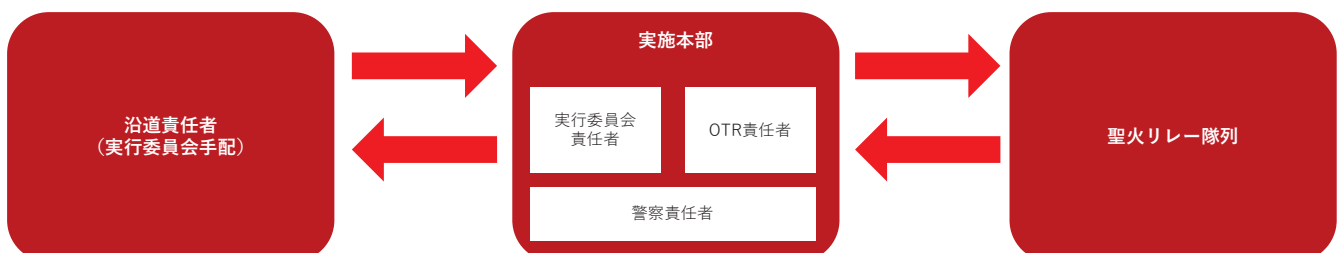
TOKYO 2020

3. 沿道観覧客への対応

(2) 「密集」が発生した際の対応方針としては、以下を考えています。

- 組織委員会は先導広報車等からの呼びかけを実施し、実行委員会の沿道スタッフからは密集を避けるように、可能な限り呼びかけていただきます。
- 密集の度合いが高く、歩行上の通行路を確保しにくいといった一般通行に支障が生じかねない状態になれば、沿道責任者から都道府県実施本部に連絡し、実施本部は、警察と協力して具体的な注意指導を実施します。
- 密集が解消されず、エスカレートすることが予想される場合は、更に強い注意を行うこととします。
(例えば、「このまま解消されなければ、走行を取りやめにせざるを得ない」など。)
- それでも解消されない場合、最終的には当該スロットまたは区間のスキップ(※)を検討します。

※スロット：各聖火ランナーに割り当てられた走行場所 区間：スロットを区市町村単位にまとめたもの



TOKYO 2020

4. 体調管理・スクリーニング検査

(1) 体調管理

- 参加するスタッフの体調管理を行います。各組織においては、できるだけ一元的な情報の把握をお願いします。

① 組織委員会及び委託業者スタッフ

…体調管理アプリを活用して管理を行います。

② その他スタッフ（PP、NHK、実行委員会）

…体調不良者が発生した場合に組織委員会に共有をお願いします。

(2) スクリーニング検査

- 東京からのスタッフは、スクリーニング検査により陰性を確認したうえで現地へ派遣します。

TOKYO 2020

【参考】 事象別の対応方針

	感染規模/ 影響度	事例	想定される対応案	判断主体案
運営スタッフ等	小	・ 感染者・濃厚接触者1,2名程度の発生 (全代替要員の確保可)	・ スタッフの配置換えにより通常運営	都道府県実施本部
	中	・ 感染者・濃厚接触者の発生により、代替要員の確保が困難な場合	・ 確保できる代替要員の範囲で実行可能な縮小案を検討	都道府県実施本部
	大	・ 関係者におけるクラスター発生	・ 公道リレーの中止、セプレーションのみの実施を検討	都道府県実施本部 + 東京本部/関係者
運営スタッフ等以外	—	・ 沿道における密集	・ 密集が解消されず、エスカレートが予想される場合、更に強い指導を行ったうえ、最終的には当該スロットまたは区間のスキップを検討	都道府県実施本部
	—	・ 都道府県におけるクラスター発生	・ スロットまたは区間のスキップを検討	都道府県実施本部 (都道府県の判断を尊重)
	大	・ 当該都道府県における緊急事態宣言の発出	・ 無観客のセレモニーのみの実施等を検討	都道府県実施本部 + 東京本部/関係者

TOKYO 2020

5. 関係ステークホルダーへの情報共有

- 当該都道府県の聖火リレー実行委員会、都道府県実施本部、東京本部は、密接に情報共有・連携
- 加えて、聖火リレーの日々の運営状況を要約し、他の都道府県のご担当とも共有させて頂き、準備等に活用して頂ければと考えています。
- また、PP各社、政府などとも共有していきます。

【主な内容】

- ①当日の実施状況報告
- ②新型コロナ関連情報
- ③翌日の実施概要、注意事項

TOKYO 2020

6. 適時適切な情報発信

基本的な考え方

- 日々の聖火リレーの動向
 - 透明性を持った情報をスピード感を持って発信します。
- 事態が生じた場合
 - 公表に当たっては、「感染症法」及び「個人情報保護の関係法令」を遵守するとともにプライバシーの保護に十分配慮します。
 - 具体的には、実施都道府県において運営に携わる聖火リレーのステークホルダーの陽性情報を個人情報に配慮した形で開示していきます。

TOKYO 2020

6. 適時適切な情報発信

毎日の情報発信について

- 聖火リレーの日々の運営状況を集約し、毎日情報を公表します。
- リレースタート後最初の10日間（福島県、栃木県、群馬県、長野県）については、東京からメディアブリーフィングを実施します。（リモート参加可能。）
- デイリーブリーフィングスケジュール（予定）
 - 福島Day1分：3月25日(木) 19:30～20:00／武藤総長・中村GDO（カメラ、通訳有）
 - 福島Day2分：3月26日(金) 20:00～20:30／高谷SP／Teams会見
 - 福島Day3分：3月27日(土) 20:00～20:30／高谷SP／Teams会見以降、翌朝の実施に変更。
 - 栃木Day1分：3月29日(月) 10:30～11:00／高谷SP／Teams会見
 - 栃木Day2分：3月30日(火) 10:30～11:00／高谷SP／Teams会見
 - 群馬Day1分：3月31日(水) 10:30～11:00／高谷SP／Teams会見
 - 群馬Day2分：4月1日(木) 10:30～11:00／高谷SP／Teams会見
 - 長野Day1分：4月2日(金) 10:30～11:00／高谷SP／Teams会見
 - 長野Day2分：4月3日(土) 10:30～11:00／高谷SP／Teams会見以降は、デイリーブリーフィングは行わず、ウェブサイトのデイリーニュースに情報集約し、公表予定。
- 主な内容：当日の実施状況報告、新型コロナ関連情報、翌日の実施概要

TOKYO 2020

6. 適時適切な情報発信

事態対応時の公表について

陽性発覚時

関係者が陽性発覚したら、本人及び所属元と確認後、所属元の情報発信とは別に、組織委員会側で例えば下記のような一覧表を作成し、オウンドメディアに掲載し、毎日、情報発信をします。

組織委員会側の一覧表イメージ（案）

No.	感染確認日	年代	性別	属性	感染を確認した都道府県	備考
1	4月1日	30代	男性	職員	長野県	
2	4月10日	40代	男性	コントラクター	和歌山県	
3	4月11日	30代	男性	関係者	和歌山県	2の濃厚接触者
4	4月13日	40代	女性	関係者	大阪府	

TOKYO 2020



新型コロナウイルス対策について

2021年3月22日

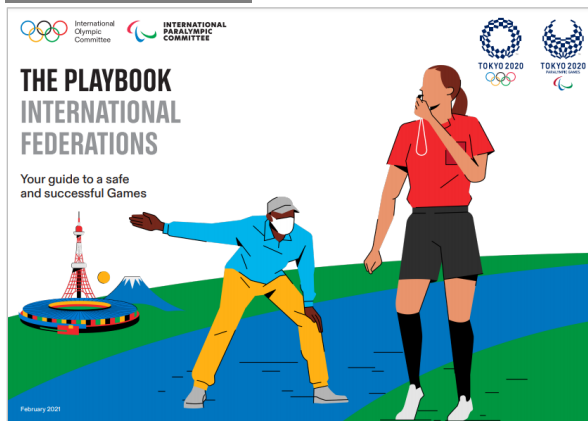
プレイブック：概要

○ 対象

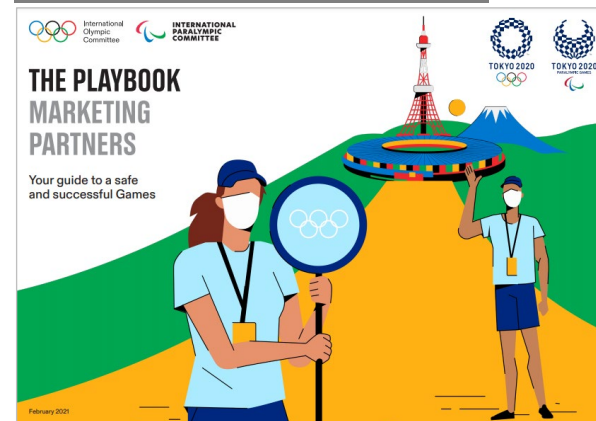
アスリート、チーム役員



IF



マーケティングパートナー



ブロードキャスター



プレス



オリンピックファミリー、パラリンピックファミリー



※ 右記URLよりご確認頂けます。(<https://tokyo2020.org/ja/news/news-20210203-03-ja>)

プレイブック：概要

○ 構成

- 安全・安心な大会に向けた対策、各ステークホルダーが守るべきルール、各個人の責任等について取りまとめたもの
- 全ステークホルダーが守るべき共通項目とステークホルダー毎の参加工程に応じた項目の二部構成
 - 原則・方針（PRINCIPLES）
各ステークホルダーが共通して守るべきルール等を記載
 - ステークホルダージャーニー（YOUR JOURNEY）
ステークホルダー毎の大会参加工程に応じて守るべきルール等を記載

○ スケジュール

- 2月3日以降、各ステークホルダーへプレイブック第1版を送付し、説明会を開催。
- 今後、4月に第2版、6月に第3版を作成予定

プレイブック：原則・方針

○ 最小限の物理的な接触

物理的な接触を最小限に留め、三密を避けることや、各自の活動計画書に沿った行動をとること等

○ 検査・行動管理・隔離

検査を通じウィルス保持者を特定、行動履歴から濃厚接触者を把握、適切な期間の隔離を行うこと等

○ 衛生管理

定期的な手洗い、手指消毒、マスクの常時着用等、基礎的な衛生管理等

TOKYO 2020 原則・方針 6

最小限の物理的な接触

新型コロナウイルスは、くしゃみ、会話、握手、密などにより感染する病原体を介し、人々との距離が近い状態で人から人に感染します。混雑した場所、換気の乏しい場所や新型コロナウイルス感染者と近い距離にいる場合、感染リスクが高まります。以上のことから物理的な接触を最小限に留め、マスクを着用し、三密（密閉、密集、密着）を避けることが重要です。

#1 人との接触を最小限に抑えてください

#2 ハグや握手などの物理的な接触を避けてください

#3 選手との距離は2メートルを確保してください。その他の人との距離は少なくとも1メートルでも少なくとも2メートルを確保してください。

#4 混雑した会場や会場は出来る限り避けてください

#5 各自のプレイブックに出て、大会関係者を使用してください。特別な許可のない限り、公共設備等の使用は認められません。

#6 各自の活動計画書に沿った行動を確実にしてください

TOKYO 2020 原則・方針 7

検査、行動管理、隔離

新型コロナウイルスの蔓延防止のため、人から人の感染の連鎖を止めることが不可欠です。そのため、検査を通じ新型コロナウイルス感染者を特定、行動履歴から濃厚接触者を把握、適切な期間の隔離をし、ウィルスが広まらないよう努めることが重要です。

#1 COCOAと健康観察を行うアプリをダウンロードしてください

#2 大会に向け自国出国前に新型コロナウイルスの検査を受け、検査結果が陰性であることを、(自発的により)日本の空港到着時に検閲官が認める場合があります

#3 各自のプレイブックにあり、日本人選手4人組、追加の制限を受けてください

#4 大会期間中、各自の行程により必要に応じて、新型コロナウイルスの検査を定期的に受けてください

#5 症状がある場合、または検査官からの指示があった場合、検査を受け隔離してください

TOKYO 2020 原則・方針 8

衛生管理

新型コロナウイルスは、感染者から出る飛沫を介して日常生活のさまざまな場面に感染します。また、そのものに付着してから、目、鼻、または口に触れると、感染するリスクがあります。そのため私たちは基礎的な衛生管理—定期的かつ徹底的に手を洗うこと、消毒を済ませること、顔を触らないようにすること、くしゃみや咳をするとき口を覆うこと—を怠ってはいけません。

#1 定期的な手洗い、可能な場合は手指消毒剤を使用してください

#2 屋外で食事との距離を2メートル以上確保できる場合は、マスクを着用する必要はありません

#3 咳をする際はマスク、ティッシュ、袖などで口を覆ってください

#4 咳つきの手で目をこすらないでください

#5 可能な限り公共物品の使用を避け、それらを消毒してください

#6 30分以上に接触した公共スペースを消毒してください

※ Playbook v1 – Athletes and Officials (日本語) より抜粋

プレイブック：ステークホルダージャーニー

旅行中の原則



1 BEFORE YOU TRAVEL 出発前

- 皆様の旅は日本への出発14日前に始まります
- 関連するすべての書類（有効化前カードまたはビザと、新型コロナウイルス陰性結果証明書）が揃っていることを確認してください
- 日本滞在の最初の14日間の活動計画の策定を完了してください
- COCOAと健康観察アプリのダウンロード、インストール及び登録をしてください
- 日本渡航前の14日間の健康観察をしてください
- 日本滞在中、皆様の濃厚接触者になりそうな人全員のリストを準備してください
- 日本への出発前72時間以内に新型コロナウイルス検査を受け、陰性の場合のみ渡航してください

ALL THE TIME 常時

- 他者との物理的接触を最小限にしてください
- 愚子との距離を2m、その他の人々との距離を1mあけてください
- 可能な限り閉鎖されたスペースや混雑を避けてください
- 皆様自身のプレイブックに従った移動手段を使用してください
- 許可がない限り、公共交通機関を使用しないでください
- 手を定期的に洗う、マスクを着用するなど、良い衛生状態を保ってください
- 滞在中、各自の役割に応じて一定の間隔でスクリーニングおよび新型コロナウイルスの検査を受ける準備をしてください
- 日本での滞在中、常時マスクを使用できるように準備をしてください



3 AT THE GAMES 大会時

- 滞在中、各自の役割に応じて一定の間隔でスクリーニングおよび新型コロナウイルスの検査を受ける準備をしてください
- 症状がある場合、または保健当局からの指示があった場合、検査を受け隔離してください
- 14日間の活動計画のみに従い行動してください
- 歌ったり演呼をしたりせず、拍手することでアスリートを応援してください
- 特定の規則が各自の役割、競技、一部の場所に適用される可能性があります



2 ENTERING JAPAN 日本への入国

- 出入国在留管理庁・検疫に有効化前カード (PWC)、オリンピックID兼アクレディテーションカード (OIAIC)、パラリンピックID兼アクレディテーションカード (PIAC)または査証と新型コロナウイルス陰性結果証明書を提示してください
- 日本入国時に新型コロナウイルスの検査を受ける準備をしてください
- 到着時、空港内では迅速に移動し、活動は最小限にしてください



4 LEAVING JAPAN 日本からの出国

- 行先の国や乗継ぎで通過する国における、最新の入国条件を把握してください
- 必要に応じて、新型コロナウイルスの最終検査を受ける準備をしておくようにしてください

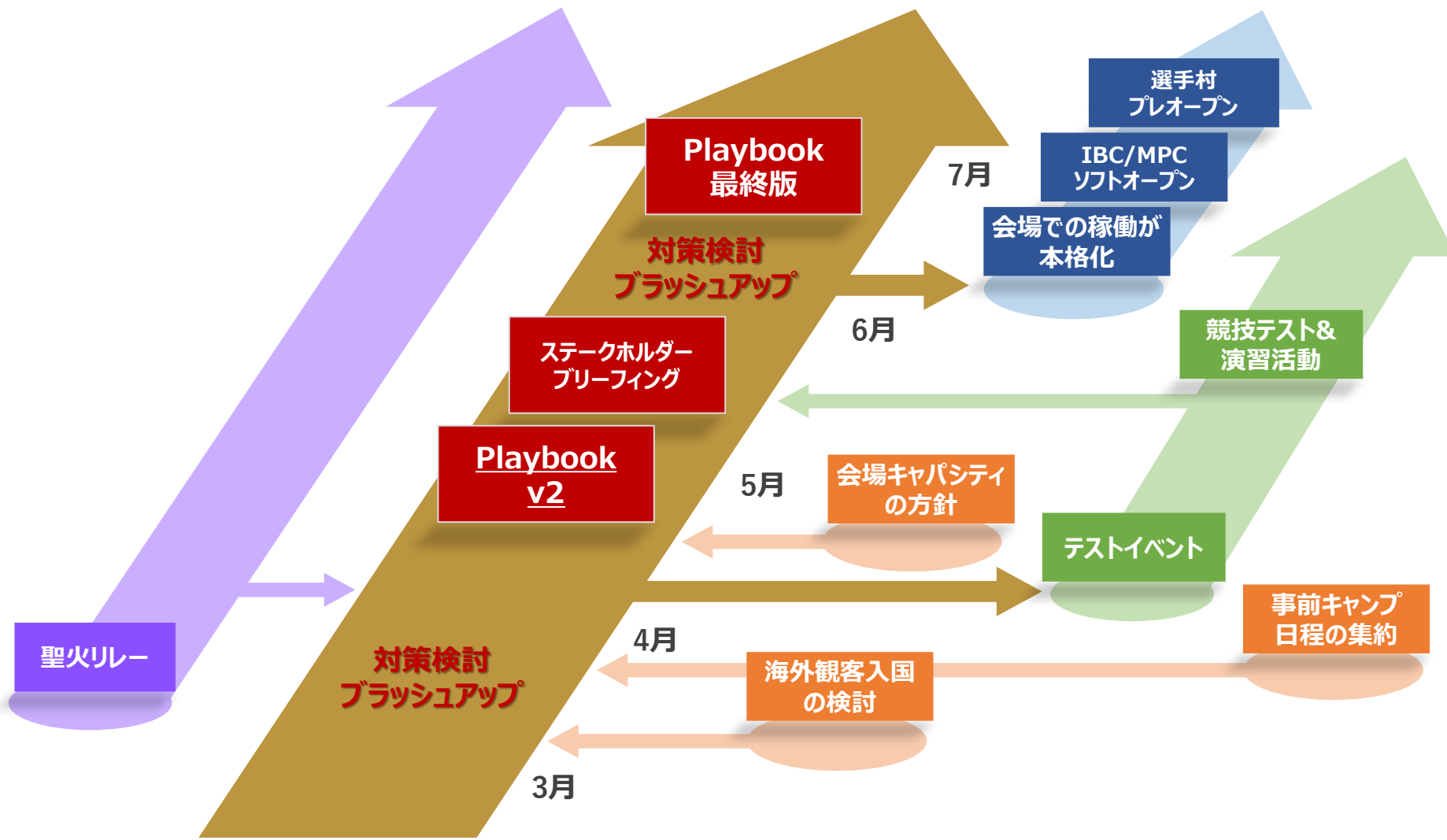
※ Playbook v1 – Athletes and Officials（日本語）より抜粋

今後の検討点

- 聖火リレー & テストイベントにおける課題の解決、本番への学び
- 事前キャンプ日程の集約、ホストタウンとの連携（検査、輸送等）
- 会場キャパシティの方針
- 各ステークホルダーの検査の種類、頻度、回数、場所等の決定
- 健康管理等アプリやシステムのリリース、確実・円滑な利用
- 適切な行動管理（用務先の設定、14日間の隔離）
- 各ステークホルダーの輸送手段の確保（公共交通の代替手段）
- 陽性者、濃厚接触者、濃厚接触疑い者への対応
- 今後の感染状況やワクチンの動向を受けた対応

安全・安心な夏に向けて

オリンピック・パラリンピック 大会本番



今後のテストイベント

車いすラグビー	運営テスト-車いすラグビー	2021年4月3日～4日 国立代々木競技場	東京2020組織委員会
水泳（水球）	運営テスト-水泳（水球）	2021年4月10日～11日 東京辰巳国際水泳場	東京2020組織委員会
水泳（飛込）	FINA飛込ワールドカップ2021兼 東京2020オリンピック最終選考会	2021年4月18日～23日 東京アクアティクスセンター	国際水泳連盟
ラグビー	運営テスト-ラグビー	2021年4月22日 東京スタジアム	東京2020組織委員会
水泳（競泳）	READY STEADY TOKYO-水泳（競泳）	2021年4月24日～25日 東京アクアティクスセンター	東京2020組織委員会
自転車競技 （BMXフリースタイル）	READY STEADY TOKYO-自転車競技（BMXフリースタイル）	2021年4月24日～25日（予備日：26日） 有明アーバンスポーツパーク	東京2020組織委員会
自転車競技（トラック）	READY STEADY TOKYO-自転車競技（トラック）	2021年4月25日 伊豆ベロドローム	東京2020組織委員会
パラ水泳	READY STEADY TOKYO-パラ水泳	2021年4月26日 東京アクアティクスセンター	東京2020組織委員会
バレーボール（バレーボール）	バレーボール日本代表国際親善試合 ～東京チャレンジ2021～（仮称）	2021年5月1日～2日 有明アリーナ	（公財）日本バレーボール協会
水泳（アーティスティックスイミング）	FINAアーティスティックスイミング オリンピック競技大会 予選トーナメント2021	2021年5月1日～4日 東京アクアティクスセンター	国際水泳連盟
体操（体操）	運営テスト-体操（体操）	2021年5月4日 有明体操競技場	東京2020組織委員会
陸上競技（マラソン）	北海道・札幌マラソンフェスティバル 2021	2021年5月5日 札幌大通公園	北海道・札幌マラソンフェスティバル 2021実行委員会
体操（新体操）	READY STEADY TOKYO-体操（新体操）	2021年5月8日 有明体操競技場	東京2020組織委員会
陸上競技	READY STEADY TOKYO-陸上競技	2021年5月9日 オリンピックスタジアム	東京2020組織委員会
パラ陸上競技	READY STEADY TOKYO-パラ陸上競技	2021年5月11日 オリンピックスタジアム	東京2020組織委員会
スケートボード	READY STEADY TOKYO-スケートボード	2021年5月13日～14日（予備日：15日） 有明アーバンスポーツパーク	東京2020組織委員会
バスケットボール （3x3 バスケットボール）	READY STEADY TOKYO-バスケットボール （3x3 バスケットボール）	2021年5月14日～16日 青海アーバンスポーツパーク	東京2020組織委員会
射撃	READY STEADY TOKYO-射撃	2021年5月17日～21日 陸上自衛隊朝霞訓練場	東京2020組織委員会



仮設オーバーレイ整備の契約状況について

2021年3月22日

報告事項

- ✓ 各会場の仮設オーバーレイ整備契約は、2020年9月の第38回理事会で、実施設計後の変更及び大会延期対応に係る整備費用の見込額を上限額として、契約手続を開始することを承認いただいたところ。
- ✓ 上限額範囲内での変更手続きを順次進めている。
- ✓ 2021年2月末時点で契約変更締結に至った会場について報告する。
(対象契約38件のうち、23件で締結済み)

仮設オーバーレイ整備の契約状況

【単位:億円】
金額は税込で百万円以下を切り上げ

会場名		当初契約	変更後	契約相手方
1	有明アリーナ	23.7	27.2	大和ハウス工業株式会社
	有明体操競技場	10.0	13.0	
	有明テニスの森	49.9	61.1	
2	大井ホッケー競技場	44.2	59.7	大和ハウス工業株式会社
	海の森クロスカントリーコース	15.6	18.4	
	海の森水上競技場	42.9	57.8	
	カヌー・スラロームセンター	25.7	33.8	
3	お台場海浜公園	23.6	35.2	大和リース・TSP太陽 特定建設工事共同企業体
	潮風公園	40.4	63.9	
4	オリンピックスタジアム 内部	32.0	54.0	大成建設株式会社

TOKYO 2020

仮設オーバーレイ整備の契約状況

【単位:億円】
金額は税込で百万円以下を切り上げ

会場名		当初契約	変更後	契約相手方
5	日本武道館	18.3	27.7	株式会社竹中工務店
6	有明アーバンスポーツパーク	37.0	56.9	大和リース・TSP太陽 特定建設工事共同企業体
7	釣ヶ崎海岸サーフィンビーチ	26.7	32.4	前田・GLイベント 仮設オーバーレイ整備業務共同企業体
8	江の島ヨットハーバー	19.3	25.0	TSP太陽株式会社
9	武蔵野の森総合スポーツプラザ	10.4	11.5	大和ハウス工業株式会社
	東京スタジアム	28.7	27.6	
	武蔵野の森公園	3.5	3.9	
10	青海アーバンスポーツパーク	26.5	37.2	TSP太陽・大和リース 特定建設工事共同企業体
11	札幌ドーム	13.4	14.2	大成建設株式会社
12	宮城スタジアム	12.8	12.8	大和リース・橋本店 特定建設工事共同企業体

TOKYO 2020

仮設オーバーレイ整備の契約状況

【単位：億円】

金額は税込で百万円以下を切り上げ

会場名	当初契約	変更後	契約相手方
13 伊豆ペロドーム 整備工事	23.9	26.0	清水建設株式会社
14 伊豆ペロドーム 仮設建築物 (伊豆MTBコースと共用)	23.8	26.8	大和リース株式会社
15 伊豆MTBコース コース周辺整備	4.6	4.5	東亜道路工業株式会社
16 富士スピードウェイ	11.0	13.0	株式会社博報堂・GL events Japan 株式会社・株式会社オサコ建設
17 国技館 館外	12.4	15.1	株式会社電通ライブ
18 国技館 館内	11.9	12.3	株式会社大林組
19 IBC/MPC	283.1	304.5	大和ハウス工業株式会社
20 選手村宿泊棟	445.0	464.0	三井不動産レジデンシャル株式会社、エヌ・ティ・ティ都市開発株式会社、新日鉄興和不動産株式会社、住友商事株式会社、住友不動産株式会社、大和ハウス工業株式会社、東急不動産株式会社、東京建物株式会社、野村不動産株式会社、三菱地所レジデンス株式会社

TOKYO 2020

仮設オーバーレイ整備の契約状況

【単位：億円】

金額は税込で百万円以下を切り上げ

会場名	当初契約	変更後	契約相手方
21 選手村商業棟 躯体	27.9	29.8	三井不動産株式会社
22 選手村商業棟 内装	15.7	15.7	株式会社エムクワイ
23 選手村ビレッジプラザ	24.3	25.7	熊谷組・住友林業 特定建設工事共同企業体

TOKYO 2020



ジェンダー平等推進チーム報告について

2021年3月22日

ジェンダー平等推進チームの活動経緯

- 2月24日(水) IOE理事会に推進チーム設置を報告
- 2月25日(木) 推進チーム・キックオフ
- 2月26日(金) 荒木田理事・高橋アスリート委員長との意見交換
- 3月2日(火) 理事会：担当副会長選任・意見交換
- 3月3日(水) 評議員会：定款変更・新任理事選任
- 3月3日(水)-9日(火) **職員アンケート**実施
- 3月8日(月) 国際女性デー・共同スタートメント(IOC/IPC/政府/東京都/組織委)
- 3月8日(月) **人権労働・参加協働WG**に参加（パートナーも約70社参加）
- 3月8日(月)-15日(月) **理事**に書面でアンケート依頼
- 3月10日(水)-17日(水) **新任理事**と個別に意見交換
- 3月12日(金) **NF協議会**で小谷SDから取組状況説明
- 3月15日(月) **アスリート委員会WG**に参加
- その他、アドバイザー等との意見交換を随時実施

本日（3月22日）多様性と調和・リスタート&アクション（案）

多様性と調和・リスタート&アクション（案）

- 今回の一連の出来事を重く受け止め、組織委員会として、しっかりと襟を正す必要がある。
- 本来、大会開催が目指したものは、社会にポジティブなインパクトを与え、レガシーを残すこと。
- これを機に、原点に立ち返る。
- スポーツの力によって、ジェンダー平等とともに、ダイバーシティ&インクルージョン、多様性と調和といったメッセージを届け、共生社会の実現に貢献していく。



東京2020大会を、後から振り返った時に、日本が大きく変わるエポックメイキングだったと言われるものにする。

TOKYO 2020

<リスタート>

ガバナンス改革

- 女性理事比率の向上（政府の目標である40%を超えた）
- 理事会に担当副会長を設置

ジェンダー平等推進チームを設置

- 職員アンケート、幅広い意見聴取



<アクション>

1 目に見える取組

- これまでやってきたこと、これからやることの「見える化」・発信
- 大会本番に向けた、取組の充実

2 ムーブメントを起こす

- 「誰もが生きやすい社会を目指すTOKYO2020宣言（仮称）」

3 レガシーに繋げる

- 大会での成果を将来に引き継ぐため、ステークホルダーと連携
- 大会スタッフこそがレガシーになる

TOKYO 2020

1 目に見える取組

【いただいたご意見】

①見える化・発信

- ダイバーシティへの関心を高めるには、そのテーマに接する機会を提供することが大事（理事）
- オープンな議論・対話が重要（人権WG）
- 会場（周辺）にジェンダー関連ブースを設置してはどうか（理事）
- 組織委員会はこれまでかなりのことを既にやっているのので、発信にこそ力を入れるべき（理事）

など

②さらなる取組

- 性的ハラスメント撮影の問題に対して、毅然とした姿勢を示すことで抑止力に繋がるのではないか（理事）
- 全ての方がストレスなく楽しめる大会にできないか（職員）

など



TOKYO 2020

①これまでやってきたこと、これからやることの「見える化」・発信

・オンラインフォーラム

- 組織委員会のこれまでの取組（ジェンダー平等・ダイバーシティ&インクルージョン、多様性と調和等）を発信し、みんなで問題を共有して、オープンに議論する
- パートナーと連携し、若い世代とも対話する

・メインプレスセンター・会場等で発信

- 大会時、メインプレスセンターに、組織委員会の取組の紹介コーナーを設置
- その他の場所でも、取組の発信・共に考えるためのスペースを設置

・組織委員会ウェブサイトの特集ページを開設し、SNSも活用

- アスリートからのメッセージ
- パートナーの先進事例を紹介
- これまでの組織委員会の取組も発信 など

○問題を共有し、共に考えていく場を作る

○よりよい取組、よりよい姿を共有し、社会にさらに広げるきっかけを作る

TOKYO 2020

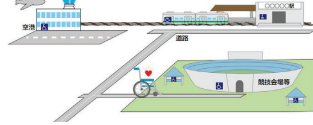
②ご意見を踏まえ、これまでの取組を大会本番に向け、充実を検討

これまでやってきたこと

1 環境整備

○Tokyo 2020 アクセシビリティ・ガイドライン

障がいの有無にかかわらず、全ての人に会場までのアクセシビリティを確保



競技会場の車いすユーザーのサイトライン確保（前列の人が立ちあがっても競技が見える）は東京大会が初めてであり、国の建築設計基準に反映された

○多機能なトイレと補助犬用トイレ

- ・全競技会場及び選手村に、車いす使用者、高齢者、障がい者、子ども連れなど多様な人が利用可能なトイレを、必要とする人が確実に使用できるよう機能別に分散設置
- ・補助犬のトイレについても競技会場に対応

○礼拝スペース

競技会場に礼拝ができるスペースを設置

2 きめ細かなサービス

○医療提供における配慮

- ・選手村総合診療所の医師のジェンダーバランスに配慮
- ・大会史上初めて、女性アスリートの総合的なサポートを行う「女性アスリート科」を設置

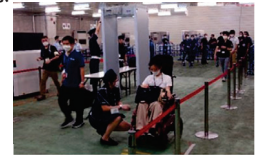
○多様性に配慮した料理

- ・世界から訪れる選手の食習慣や宗教上の食に配慮し、ハラールメニュー、ベジタリアンメニューを提供
- ・大会の飲食の検討にはアスリートをはじめ、多くの方々が参加



○セキュリティチェックでの配慮

- ・車いす使用者エリアの設置など、多様性に配慮したセキュリティチェック
- ・コミュニケーションを通じて一人ひとりを尊重した対応を実施



○コミュニケーションマナー集を作成し、職員を活性化して、サービスのレベルアップに繋げる

○障がいの有無にかかわらず大会を楽しむことができるように工夫

等

TOKYO 2020

これまでやってきたこと

3 心を込めたおもてなし

○ストレスフリーな入退場・観戦をサポート

ボランティアに加えロボットによる物品の運搬や観戦席への誘導を通じ、車いすの方の入退場・観戦をサポート



観戦サポートロボット (左)

Vision Innovation(C)Toyota Motor Corporation

運搬サポートロボット (右)

○会場における適切な人権対応

会場で人権に関する事案が発生した場合、ガイドラインに基づき、大会スタッフが毅然とした姿勢を持ちながら、対話を通じて適切に対処

4 競技で (IOCとの連携により実施)

○男女混合種目の採用

ジェンダーバランス実現のため、オリンピック7競技において混合種目を追加

○競技種目及び選手枠数の改善

オリンピック11競技において、男子のみ・女子のみの種目の男女共通種目への変更や、男女の選手枠数の同数への変更又は枠数の差の縮小を実施

* 女子選手参加割合：オリ49%・パラ40.5%以上（共に史上最高）

○大会参加における男女平等

- ・大会史上初めて、入場行進するときの旗手は男女のペアで1本の旗を2人で持つことが可能に
- ・大会史上初めて、各国選手団から男女両方が参加する大会に

○審判・技術役員ユニフォーム

スラックススタイルへの統一、ユニセックスデザインのジャケットやネクタイ・スカーフの自由選択性など様々な国籍・年齢、着用シーンに対応



○JOC・JPCと連携しアスリートへの性的ハラスメント撮影対策を進める

○メダル贈呈時のプレゼンターの男女バランス配慮等で、さらに多様性を高める 等

TOKYO 2020

東京2020大会における会場入場者の禁止行為・遵守行為の改正について

近年、社会問題となっている「アスリート等への性的ハラスメント」に対する予防措置として、東京2020大会における「禁止行為・遵守行為」を下記のように一部変更する。

禁止行為（現行32項目）

アスリート等への性的ハラスメントを防止するため、性的ハラスメント目的との疑念を生じさせる撮影行為を明確に禁止すべく根拠項目を新設

項目(18)として

アスリート等への性的ハラスメント目的との疑念を生じさせる写真、映像を記録、送信若しくは作成すること。

遵守行為（現行7項目）

盗撮行為等の現認・通報等があった際に撮影内容が確認できるようにすべく根拠項目を新設

項目(5)として

主催者からカメラ等による撮影画像の確認行為を求められた際にはこれに応じること

※持込禁止物品、禁止行為、遵守行為は別紙参照

TOKYO 2020

2 ムーブメントを起こす

【いただいたご意見】

- 組織委は既に会長もSDも女性、女性理事4割。期間限定組織なので、社会を良くするための開かれたアクションで風を起こして欲しい（理事）
- 社会的に影響力を持つステークホルダーと一緒にあった取組が必要（職員）

「誰もが生きやすい社会を目指すTOKYO2020宣言（仮称）」

○オリンピック憲章

人間の尊厳の保持に重きを置く平和な社会の推進を目指す為に人類の調和のとれた発展にスポーツを役立てる

人種、肌の色、性別、性的指向、言語、宗教、政治的又はその他の意見、国あるいは社会のルーツ、財産、出自やその他の身分などの理由による、いかなる種類の差別も禁止

○東京2020大会ビジョン「スポーツには、世界と未来を変える力がある。」

“すべての人が自己ベストを目指し、一人ひとりが互いを認め合い、そして、未来につなげよう”

- 東京と日本が**真の多様性を備えた社会**へと変わり、聖火リレーのように次世代に引き継がれることを目指す

この夏の大会を契機として、**確かな一歩を踏み出すための行動を「宣言」**

- ・アスリート・ボランティア・大会関係者ととともに、ホストタウンなどの参加を想定
- ・それぞれの参加主体が自ら目標・取組を設定し宣言

- 大会後に宣言の進捗状況をフォローする枠組みを、あらかじめステークホルダーと構築

TOKYO 2020

3 レガシーに繋げる

【いただいたご意見】

- スポーツにおけるハラスメント根絶の声明を出す（理事）
- 組織委員会の調達コードを、政府でも採用できないか（人権WG）
- 競技団体や行政の担当者が集まって大会後のレガシーについて議論し連携する場が必要ではないか（理事）
- 最近の競技大会では託児所が設置されるが、スポーツ施設に日常的に設置されるようになるようお願い（アスリート委員会WG）



○大会での成果を将来に引き継ぐため、ステークホルダーとの連携

- ・大会後のJOC・JPC・パートナー・政府・東京都等との連携について、検討を加速
- ・大会をきっかけとした取組やその成果をとりまとめた「アクション&レガシーレポート」に**将来に向けた提言**を盛り込み、**IOC・IPC・政府・東京都**へ
- ・ジェンダー平等・ダイバーシティ&インクルージョン・持続可能性などを追求し、大会の延期という過去にない事態を乗り越えた大会の姿を「**東京モデル**」として、大会公式報告書に記録し、将来大会に引き継ぐ

TOKYO 2020

3 レガシーに繋げる

【職員の声】

- 外国籍のメンバーが出席する打合せで、英語で接するなど皆が「伝える努力」をしてくれた
- 車椅子ユーザーの同僚が行ける場所、動線等を優先して考えることが当たり前になっている
- 出向元や雇用形態などの個人のバックボーンで判断せず、フラットに関係性を築こうとしている人が多いと感じる

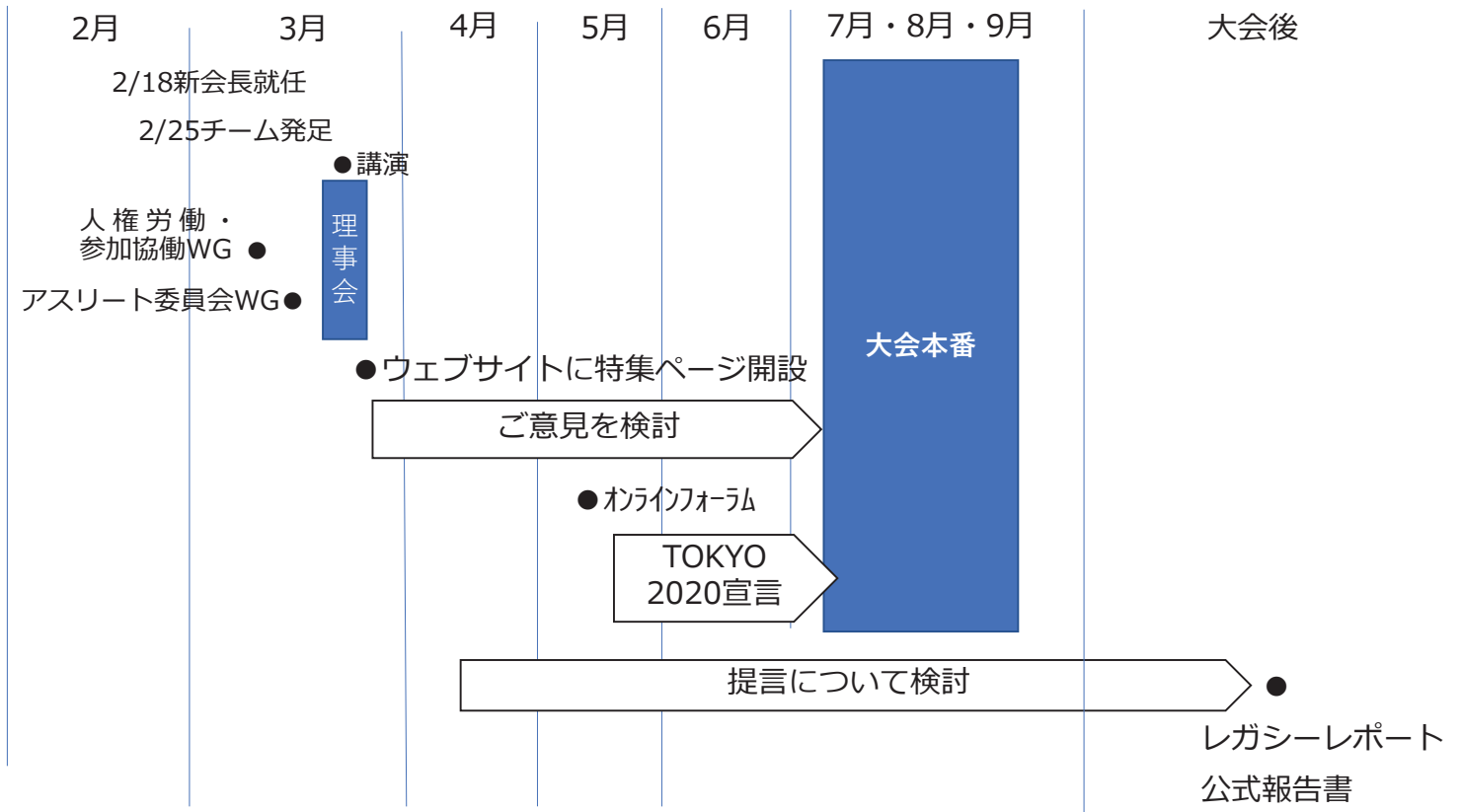


○大会スタッフこそがレガシーになる

- ・組織委員会には、400近い出向元から職員が集まり、世界から各分野の経験者・専門家が加わる。ボランティアは、あらゆる世代から約8万人が参加。コントラクターは20万人以上
- ・各々が、ダイバーシティ&インクルージョン、アクセシビリティ、持続可能性等について研修を受け、日々の仕事を通じて理解を深めている
- ・大会後は、一人ひとりが大会を通じて得たものを、出向元や新たなフィールドで**ゲームチェンジャー**となり実践し、**レガシーとして根付かせることを期待**
- ・引き続き、充実した研修機会の確保、一人ひとりが生き生きと活躍できる風通しのよい職場づくりを進める

TOKYO 2020

ロードマップ



持込禁止物品

会場へ入場しようとする者は、次の各号に該当する物品を原則として、持ち込むことはできません。これに違反した場合は、入場を拒否する場合があります。また、会場内において次の各号に該当する物品が発見された場合には、退場措置を取る場合があります。

- (1) 銃砲刀剣類
- (2) はさみ、アイスピック等鋭利な物及びカミソリ、カッター等の刃物又は凶器となり得るおそれのあるもの
- (3) 毒物、薬物、その他有害物質
- (4) 爆薬、火薬、発煙筒、花火、発火装置、爆発するおそれのあるもの、可燃性物質その他危険物（個人利用のライターを除く）
- (5) ガラス容器、缶、紙パック・アルミパック等、ペットボトル・水筒（一人当たり、いずれか1本で容量750ml以下のペットボトル・容量750ml程度の水筒を除く）
- (6) 飲料（一人当たり、いずれか1本で内容量750ml以下のペットボトル・水筒については、原則試飲の上持ち込可）、凍結した飲料、アルコール飲料
- (7) 食品（個人消費目的の腐らない食品を除く）
- (8) 日焼け止め、クリーム、ローション類（個人消費目的に限り、1つにつき容量が概ね100ml以下のものを除く）
- (9) 氷類・保冷剤等（水筒内の氷を除く。保冷剤については、容量が概ね400ml以下で凍らせても柔らかいものを除く）
- (10) 医薬品（個人使用として妥当な量の医薬品を除く）
- (11) 90cm以上の旗竿、カメラの一脚又は三脚、脚立、椅子、棒等凶器として使用されるおそれのあるもの（白杖及び健康上の理由で必要とされる杖を除く）
- (12) 全長30cm以上のカメラレンズ
- (13) 傘（折りたたみ傘を除く）
- (14) 楽器、ホイッスル、ブブゼラ、ガスホーン、拡声器、レーザーポインター、紙ふぶき等大会運営又は競技進行の妨げになるもの
- (15) スポーツ用品、噴霧器、ウォーターガン等の内、大会運営又は競技進行の妨げになるおそれのあるもの
- (16) 旅行用カバン等大型又は大量の荷物（概ね容量25ℓ以下のソフトな材質のものは除く）
- (17) 参加していない国の国旗及び1m×2m以上の旗・バナー・横断幕等
- (18) 東京2020組織委員会の許可を得ていない無線機器（携帯電話等を除く）、ドローン等遠隔操作を行う機器
- (19) 動物（補助犬を除く）
- (20) 政治的、思想的若しくは宗教的な主義、主張、公共の秩序、道徳に反する内容、あるいは差別的内容の広告材料若しくは観念を表示し、若しくは連想させ、又はデモンストレーションに使用され得るものや大会の運営に支障を及ぼすおそれのある掲示板、立て看板、旗、バナー、横断幕、懸垂幕、のぼり、プラカード、ゼッケン、文書、図画、印刷物、商標等
- (21) 特定の会社又は企業の宣伝を目的として、特定の会社名、製品名等を表示した物（特定の会社、製品等を連想させる物、無許可のチラシ、パンフレット、プロモーション素材を含む）
- (22) その他大会運営若しくは競技進行を妨害し、他人に迷惑若しくは危険を及ぼし、又はそれらのおそれがあると大会関係者が認めるもの

※ 持込禁止物品については、特定の会場やセッションにおいて内容を変更する場合があります。変更内容については、公式HP等を通じて、別途お知らせいたします。

禁止行為

会場に入場しようとし、又は入場した者は、原則として、次の各号に該当する行為をすることはできません。これに違反した場合は、入場拒否又は退場措置をとる場合があります。

- (1) 法令及び公序良俗に反する行為をすること。
- (2) 正当なチケット又はア krediyteshonカード等を所持せず入場すること。
- (3) 持込禁止物品を持ち込むこと。
- (4) 競技エリア若しくは観客席等への物の投げ入れ又は発射、その他大会運営上支障を及ぼすおそれのある行為をすること。
- (5) 東京 2020 組織委員会の許可を得ていない無人航空機(ドローン等)を飛行させること(会場外からの操作を含む)。
- (6) 競技エリアをはじめとする、立ち入り禁止区域又は、立ち入り制限区域に正当な理由なく立ち入ること。
- (7) 建物、立ち木、建造物その他設備、施設若しくは物件を破壊し、損傷し、汚損し、又はみだりに操作すること。
- (8) 安全措置のために施した錠、掛け金、封印、テープ等を損壊し、又は開封・改変すること。
- (9) 観客、審判、選手又は大会関係者を脅迫、威圧、侮辱又は挑発する等、攻撃的な行為をすること。
- (10) 選手又は大会関係者等への面会を強要し又は居座ること。
- (11) 通路、階段、出入口等に荷物を置く又は観戦する等、通路を塞ぐ行為をすること。また、所定の場所以外で観戦すること。
- (12) 座席の上に立つ又はフェンスその他施設に登る行為をすること。
- (13) 会場内で喫煙すること(電子タバコ等を含む)。
- (14) 会場内で火気を使用すること。
- (15) 酩酊した状態で会場に入場し、又は会場において酩酊すること。
- (16) 会場内において、東京 2020 組織委員会の許可を得ていないモバイル Wi-Fi をはじめとする通信機器(携帯電話を除く)を使用すること。
- (17) 営利目的で写真、映像を記録、送信若しくは作成すること。
- (18) **アスリート等への性的ハラスメント目的との疑念を生じさせる写真、映像を記録、送信若しくは作成すること。**
- (19) 政治的、思想的若しくは宗教的な主義、主張、公共の秩序、道徳に反する内容、あるいは差別的内容の広告材料若しくは観念を表示し、若しくは連想させ、又はデモンストレーションに使用され得るものや大会の運営に支障を及ぼすおそれのある掲示板、立て看板、旗、バナー、横断幕、懸垂幕、のぼり、プラカード、ゼッケン、文書、図画、印刷物、商標等を設置、着用、散布、貼布、配布すること。
- (20) 抗議活動やデモンストレーション、集会、勧誘、演説、差別言動等、大会の円滑な運営を阻害するおそれのある行為をすること。
- (21) 商行為、寄付金の募集、広告物の掲示、その他営利目的の行為をすること。
- (22) 参加していない国の国旗及び 1 m × 2 m 以上の旗・バナー・横断幕等を使用すること。
- (23) 特定の会社又は企業の宣伝を目的として、特定の会社名、製品名等を表示した物(特定の会社、製品等を連想させる物、無許可のチラシ、パンフレット、プロモーション素材を含む。)を掲示し、又は設置、配布すること。
- (24) 座席や観戦エリアで傘、自撮り棒を使用すること。
- (25) 所定の場所以外にゴミその他の物を廃棄すること。
- (26) 楽器(太鼓、トランペット等)等の使用により、大会運営又は競技進行を妨げること。
- (27) 所定の場所以外へ進入し、駐車又は駐輪すること。
- (28) 違法駐車、会場周辺での野宿など近隣住民や周辺施設等への迷惑行為をすること。
- (29) テープやシート及び手荷物等を使用した入場待ち列確保及び会場での徹夜行為をすること。
- (30) 他人のために、観客席や観戦エリアに物を置くなどしての席取り・場所取り行為をすること。
- (31) 折りたたみ椅子、シート等を使用して競技観戦等を行うこと。
- (32) 東京 2020 組織委員会が事前に認めた場合以外に再入場すること。
- (33) その他大会運営若しくは競技進行を妨害し、他人に迷惑若しくは危険を及ぼし、又はそれらのおそれがあると大会関係者が認める行為をすること。

※ 禁止行為については、特定の会場やセッションにおいて内容を変更する場合があります。変更内容については、公式 HP 等を通じて、別途お知らせいたします。

遵守行為

会場に入場しようとし、又は入場した者は、次の各号に該当する行為を遵守していただきます。これに違反した場合は、入場拒否又は退場措置をとる場合があります。

- (1) チケット、身分証明書、ア krediyteshonkard等の提示を求められたときは、これに応じること。
- (2) 安全確保のため、手荷物、所持品検査に協力すること。
- (3) 大会関係者又は治安機関の指示、案内、誘導等に従い行動すること。
- (4) チケットに明示された座席において着席して観戦すること（立見席を除く）。
- (5) 主催者からカメラ等による撮影画像の確認行為を求められた際にはこれに応じること。
- (6) 主催者が定めた時刻以降から会場に入場し、競技（該当チケット分）が終了したときは、大会関係者の指示に従い、速やかに会場から退場すること。
- (7) 旗・バナー・横断幕等の掲出方法（場所を含む）については、大会関係者の指示に従うこと。
- (8) 自らが損害を被ることのないよう競技進行（練習を含む）に十分注意すること。



TOKYO 2020

東京2020 第43回理事会 資料

配付資料



IOC/IPC/Tokyo2020合同コロナ対策ワーキングミーティング、 IOC理事会、IOC総会

2021年3月22日

(1) IOC/IPC/Tokyo2020合同コロナ対策ワーキングミーティング

1 日時：2021年2月15日（月）～17日（水）

2 場所：晴海トリトンスクエア ※テレビ会議により開催

3 出席者：

IOC側：コーツIOC調整委員会委員長、
ギラディ同副委員長、同委員、スタッフ ほか

IPC側：パーソンズIPC会長、
スペインIPCチーフブランド&コミュニケーションオフィサー ほか

東京側：武藤事務総長、
各副事務総長、
東京都、政府、JOC、JPC ほか

(1) IOC/IPC/Tokyo2020合同コロナ対策ワーキングミーティング (続き)

4 内 容 : 東京大会の進捗についてのプレゼン及び質疑応答 等

<2月15日 (月) >

○セッション

大会期間前/大会期間中/選手村/アプリケーション

<2月16日 (火) >

○セッション

検査/事態対応/暑さ対策/輸送/大会サービス/会場/パラリンピック

<2月17日 (水) >

○ラップアップ

TOKYO 2020

デュビ IOCオリンピック競技大会エグゼクティブディレクター及びスペイン IPCチーフブランド&コミュニケーションオフィサーからのコメント (要旨)

(デュビIOCオリンピック競技大会エグゼクティブディレクター)

- ・プレイブックを発表し、すべてのステークホルダーに対する説明を実施
- ・このプレイブックはステークホルダーにとっての枠組みであり、今後は深掘りが必要
- ・3日間の会議で詳細を深め、行動計画を策定することができた。
- ・いつもと同様に生産的な会議を行うことができ、東京のチームに感謝する。

(スペインIPCチーフブランド&コミュニケーションオフィサー)

- ・事務的でテクニカルな主要ポイントを議論することができた。
- ・4月と6月に発表するプレイブックの二稿、三稿では、ステークホルダーからの質問への答えを盛り込む。
- ・パラリンピックでは、オリンピックとは違ったニーズがあり、アクセシビリティが第一に重要なことである。
検査会場や隔離をする場所などでアクセシビリティに問題がないか詰めて議論を行った。
- ・日本ではちょうど今日ワクチン接種が開始された。今後世界で10億人がワクチンを接種するということであり、大会の準備にとってもポジティブなことであると考えている。

TOKYO 2020

(2) IOC理事会 (東京2020進捗報告)

- 1 日時 : 2021年2月24日 (水)
- 2 場所 : ローザヌ (スイス) ※テレビ会議形式により参加
- 3 出席者 :
IOC側 : バッハ会長、コーツIOC調整委員会委員長、IOC理事
東京側 : 橋本会長、武藤総長、遠藤副会長、山下副会長/IOC委員、
中村GDO、小谷SD
- 4 内容 :
 - ・Tokyo2020によるプレゼンテーション (橋本会長)
 - ・コーツ委員長による進捗報告
 - ・質疑応答

TOKYO 2020

(3) IOC総会 (東京2020進捗報告)

- 1 日時 : 2021年3月11日 (木)
- 2 場所 : ローザヌ (スイス) ※テレビ会議形式により参加
- 3 出席者 :
IOC側 : バッハ会長、コーツIOC調整委員会委員長、IOC理事、
IOC委員 ほか
東京側 : 橋本会長、武藤事務総長、
山下副会長/IOC委員、中村GDO、小谷SD
- 4 内容 東京大会の進捗についてのプレゼン及び質疑応答 等
新型コロナウイルス感染症への対応について / スポーツ / ファイナンス /
マーケティング / 聖火リレー

TOKYO 2020



専門委員の変更について

2021年3月22日

専門委員の変更について（2020年度）

委員会	新委員	新委員 所属先役職等	旧委員
文化・教育	三田村 裕	全日本中学校長会会長	川越 豊彦
経済・テクノロジー	澁谷 直樹	日本電信電話株式会社 代表取締役副社長	井伊 基之
メディア	新井 直彦	日本テレビ放送網株式会社 スポーツ局長	松本 達夫
メディア	Isabel Reynolds	公益社団法人日本外国特派員協会 会長	Khaldon Azhari
メディア	原田 洋子	株式会社エフエム東京 編成制作局 報道・情報センター部長	石井 育子
メディア	樋口 太	朝日新聞社 オリンピック・パラリンピック・スポーツ戦略室長	豊 吹雪
メディア	藤田 和之	読売新聞東京本社 執行役員 不動産・コンプライアンス・広報・オリンピック・パラリンピック担当	前木 理一郎
メディア	堀越 礼子	朝日新聞社 執行役員 オリンピック・パラリンピック・スポーツ戦略担当	福地 献一
メディア	松下 圭児	株式会社テレビ東京 スポーツ局長	草野 啓
メディア	山本 修司	毎日新聞社 オリンピック・パラリンピック室長兼営業総本部長補佐	小菅 洋人

※ 街づくり・持続可能性委員会の竹本和彦委員は、本人からの申し出により2020年9月末付で辞任



東京2020 NIPPONフェスティバルの実施

2021年3月22日

1. 東京2020 NIPPONフェスティバル概要

「文化の祭典」としてのフェスティバル

東京2020 NIPPONフェスティバル (2021年4月～9月)

聖火リレーが始まるこの時期に、国・自治体・文化団体等と連携し日本の文化・芸術の力を国内外に発信する文化プログラムを全国で展開。

目的

- ▶ スポーツと共に、あらゆる境界を超えた連帯の象徴となり、平和な社会の実現に貢献
- ▶ 日本が誇る文化・芸術を、国内外に強く発信
- ▶ 文化・芸術を通じた共生社会の実現
- ▶ 聖火リレーと共に大会への参加機会を全国で創出

事業体系

主催

組織委員会が行う
3つの文化プログラム

+

共催

自治体等が行う特別な
文化プログラム

2. フェスティバルのキャッチフレーズ・マーク

Blooming of Culture

文化は、出会いから花開く。



TOKYO 2020

3. フェスティバルのコンセプト

TOKYO 2020オリンピック・パラリンピックに向けて、
東京2020 NIPPONフェスティバルがスタートします。

日本にあらゆる国の人が集う本大会に先駆けて、
様々な人と文化が交流する場となるはずです。

地方と都市。日本と世界。

あらゆる境界を超え、ひとつになるその時。

きっと、かつてない文化が生まれるでしょう。

きっと、多様性の力と素晴らしさを実感するでしょう。

きっと、新たな文化と感動が未来につながってゆくでしょう。

その主役は、私たちひとりひとり。

そして舞台は、この国のあらゆるまちとまち。

日本各地の熱気と多様性の融合から、すべては始まります。

東京2020 NIPPONフェスティバル。それは、

この国の新たな可能性を開くフェスティバルです。

TOKYO 2020

4. フェスティバルの組織委員会主催プログラム①

わっさい

プログラム概要

世界はもういちど、「わ」になれる。

オリンピック・パラリンピックで交流するのは世界中のアスリートだけではありません。子どもたちを始め、誰もが文化交流できる場所。それがオンラインで開催される特別なお祭り「わっさい」です。みんなでバーチャルに「わ」になり歌って踊って、一生モノの思い出をつくりましょう。全人類に、祝福を。

開催日時：7月18日（日）18時から（予定）

開催場所：オンライン（ライブ配信予定）

総合演出：菅野こうめい（演出家）



TOKYO 2020

4. フェスティバルの組織委員会主催プログラム②

ONE -Our New Episode-

Presented by Japan Airlines

プログラム概要

個々（ここ）からはじまる、新しいひとつの物語。
一人ひとり異なる個性をもつ人の物語が、
集まり、交じり合い、つながり、そして共創することで、
みんながひとつになるような、さらに新しい物語をつむぎ
だし、
その物語を次代へつなぐレガシーとして引き継いでいきます。

ONE - Our New Episode -

Presented by Japan Airlines

TOKYO 2020

4. フェスティバルの組織委員会主催プログラム②

■ MAZEKOZEアイランドツアー

ジェンダー・年齢・国籍・障がいの有無など様々な個性・特性のあるアーティストやエンターティナー等のアートや音楽、パフォーマンス。それらが繋がり交じり合う島々を巡り、「まぜこぜ=多様性」を可視化。

それはまさに共生社会の居心地の良さに気づく旅。この「MAZEKOZEアイランドツアー」によって、視聴者は自分と同じ人などひとりもないということに気づくことにもなり、共生社会の実現にむけた「きっかけ」「出会い」「共鳴・共感」へと誘う物語。

開催日時：8月22日（日）16時から（予定）

開催場所：オンライン（ライブ配信予定）

総合構成・演出・総指揮：東ちづる



■ カガヤク ミライ ガ ミエル カナガワ 2021

演劇、ダンス、アート、音楽、伝統芸能など、文化芸術各分野の最先端アーティストが、「共生社会の実現に向けて」をテーマにそれぞれの分野の枠を融解・共創して、障がい、年齢、ジェンダー、国籍に関わりなく「わたし」たちが輝ける「新しい未来の姿」を文化芸術の力により神奈川県から世界に発信する共生イベントを開催します。

開催日程：2021年8月中旬（予定）

開催場所：神奈川県横浜市内 ※オンラインでも配信を予定しています。

主催：神奈川県、東京2020組織委員会

TOKYO 2020

4. フェスティバルの組織委員会主催プログラム③

しあわせはこぶ旅 モッコが復興を歩む東北からTOKYOへ Rediscover Tohoku to TOKYO Presented by ENEOS

プログラム概要

岩手県、宮城県、福島県などと連携し、東北各地と東京を舞台とした文化プログラムを展開。各会場で東北の人々のメッセージを預かった巨大人形「モッコ」が、東京を目指して旅をしながら国内外へ東北の現在の姿を発信します。モッコが東北に根付く文化や、人々との出会いを重ねるといったロードストーリーを背景に、新しい形の文化事業を展開します。

クリエイティブディレクター：

箭内道彦（東京藝術大学美術学部デザイン科教授）

岩手県

2021年5月15日（土）

陸前高田市
高田松原津波復興祈念公園



宮城県

2021年5月22日（土）

岩沼市
千年希望の丘 相野釜公園



福島県

2021年5月29日（土）

南相馬市
相馬野馬追祭場地（雲雀ヶ原祭場地）



東京都

2021年7月17日（土）

東京都新宿区
新宿御苑



TOKYO 2020

4. フェスティバルの組織委員会主催プログラム③

巨大人形「モッコ」

モッコは、岩手・宮城・福島の子もたちとクリエイターたちによるワークショップで創り上げられました。身長は約10m。巨大人形が手足を動かし、感情豊かに表情もつくりながら、壮大な人形劇を行います。モッコのミッションは、東北の人々や東北の文化との出会いを通して、世界の人たちにそのメッセージを届けること。今の東北とTOKYOを繋ぐこと。そして人と人の思いをもう一度結ぶこと。

- ベースデザイン : 荒井良二 (絵本作家、イラストレーター)
- 人形デザイン制作 : 沢則行 (人形劇師、人形作家)
- 命名「モッコ」 : 宮藤官九郎 (脚本家、監督、俳優)
- モッコの物語 : 又吉直樹 (芸人、小説家)



TOKYO 2020

5. フェスティバルの共催プログラム (2021年3月22日時点公表分)

① 信州・アート・リングス～文化でつながる。文化を創る。そして美しい未来へ～

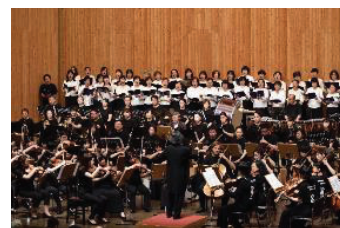
実施団体 : 長野県、(一財)長野県文化振興事業団、長野県芸術文化協会、長野県教育委員会、信州ザワメキアート展2021実行委員会 (仮)

実施日程 : 2021年4月1日～9月12日

場 所 : 長野県県民文化会館 (ホクト文化ホール) (長野県長野市) ほか県内各地

事業概要 :

長野県芸術監督団の小林研一郎氏による音楽公演をはじめ、信州の自然を活かしたアーティスト・イン・レジデンス、信州ゆかりの作家による現代美術展や障がいのある方の美術展、県内各地の芸能を紹介する伝統芸能公演により、信州文化の多彩な魅力を国内外に発信します。



② 「現代日本画の系譜 -タマビDNA展」

実施団体 : 多摩美術大学

実施日程 : 2021年4月3日～6月20日

場 所 : 多摩美術大学美術館および多摩美術大学アートテーク

事業概要 :

日本画はこの国で1000年以上続く伝統的な絵画様式です。時代により変容しながらも今日まで受け継がれてきたのは、この様式が日本の風土や日本人の美意識、精神性に合っていたからといえます。本展覧会を通じて世界の人々に日本人の心のありように触れてもらい、日本画および日本文化の魅力を世界に発信することを目的とします。



TOKYO 2020

5. フェスティバルの共催プログラム (2021年3月22日時点公表分)

③ ふじのくに野外芸術フェスタ2021静岡宮城聴演出SPAC『アンティゴネ』公演

実施団体：ふじのくに野外芸術フェスタ実行委員会
実施日程：2021年5月2日～5月5日
場 所：駿府城公園

事業概要：

国際的に活躍するSPAC-静岡県舞台芸術センターが、静岡市の中心地「駿府城公園」に野外舞台を設営し、芸術総監督宮城聡演出『アンティゴネ』を上演します。同作は2017年フランス、2019年ニューヨークで多くの観客を虜にしてきたSPACの話題作です。



Festival d'Avignon (2017)Shizuoka Performing Arts Center ANTIGONE directed by Satoshi Miyagi
© Christophe Raynaud de Lage

④ 伝承のたまはこ～多摩伝統文化フェスティバル2021～

実施団体：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、八王子市、公益財団法人八王子市学園都市文化ふれあい財団
実施日程：2021年5月29日・30日
場 所：JR八王子駅北口 西放射線ユーロード 横山町公園、八王子市芸術文化会館（いちようホール）、八王子繊維貿易館

事業概要：

- (1) 東京・多摩地域の伝統文化・芸能の魅力を発信、
- (2) 文化の新旧・和洋のコラボレーションで新たな感動体験、
- (3) 街なかや自宅で気軽に体感、という3つのコンセプトをもとに、コロナ禍においても多摩地域の市町村や芸術文化団体と連携し、オンライン配信等を活用した本格的な公演や演奏などを行います。



TOKYO 2020

5. フェスティバルの共催プログラム (2021年3月22日時点公表分)

⑤ ふるさとの祭り2021

実施団体：福島県、ふるさとの祭り実行委員会
実施日程：2021年5月29日
場 所：南相馬市 雲雀ヶ原祭場地

事業概要：

民俗芸能の継承が危ぶまれている団体や芸能を披露する機会のない団体に発表の場を提供することにより、貴重な地域の宝である民俗芸能の継承と人々の絆の再生を図ります。また、東京2020オリンピック・パラリンピックの共催プログラムイベントにおいて民俗芸能を披露することで、福島県が誇る民俗芸能の魅力や復興に向けて取り組む姿を国内外に強く発信します。



⑥ ヨーソロー1000人プロジェクト～千葉から千の響き「和太鼓1000人打ち」

実施団体：ヨーソロー1000人プロジェクト実行委員会
実施日程：2021年6月6日
場 所：豊砂公園、イオンモール幕張新都心屋外ステージ

事業概要：

子どもも大人も、海外の方も、障がいのある方も、一人ひとりが主役となって「自己ベスト」が実現できる文化プログラムです。日本を象徴する和太鼓、篠笛、舞踊を用いて、震災復興応援曲「ヨーソロー」を1000人で演奏、演舞するパフォーマンスで、元気を千葉から発信し、未来へ継承します。



TOKYO 2020

5. フェスティバルの共催プログラム (2021年3月22日時点公表分)

⑦ あきた民謡祭2021

実施団体：あきた民謡祭実行委員会、秋田県
実施日程：2021年6月13日
場 所：秋田ふるさと村ドーム劇場

事業概要：

秋田の代表的な伝統芸能である秋田民謡を次世代に継承していくことを目的に、若手の担い手による公演を実施します。

また、民謡を通じた地域活性化を促進するとともに、秋田民謡を県内外に広く発信します。



⑧ 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 安全祈願奉納流鏝馬

実施団体：公益社団法人日本弓馬会
実施日程：2021年7月17日
場 所：明治神宮西参道流鏝馬馬場

事業概要：

大会の安全な開催と成功を祈念して流鏝馬を実施します。会場では実況アナウンスとともに、流鏝馬の歴史や見所などを日本語と英語で解説します。また、流鏝馬をライブ配信するとともに、流鏝馬の映像作品を制作してオンライン配信することで、自宅でも流鏝馬を見て、その魅力を理解できるような環境を提供します



TOKYO 2020

5. フェスティバルの共催プログラム (2021年3月22日時点公表分)

⑨ 完全版マハーバーラタ～愛の章／嵐の章

実施団体：「完全版マハーバーラタ」実行委員会
実施日程：2021年8月20日～23日
場 所：なかのZERO 大ホール

事業概要：

インド古代叙事詩「マハーバーラタ」を全編舞台化し、上演を行います。ふたつの部族による対立の物語を現代社会に重ね合わせつつ描き、「平和」「共生」のメッセージを発信します。



⑩ 国立競技場の木のコカリナが奏でるコンサート～世界中の友達に平和を～

実施団体：NPO法人日本コカリナ協会
実施日程：2021年8月22日
場 所：新宿文化センター

事業概要：

コカリナは木でできたオカリナです。日本の音楽家・木工家の手によって豊かな音色、幅広い音域を奏でられる楽器として進化しました。このコンサートでは、オリンピック会場である国立競技場の建替えのために伐採された木からできたコカリナを子ども達と共に奏で、コロナ禍にいる世界中の子ども達が、一日も早く平和な世界を取り戻せるよう響かせます。



TOKYO 2020



TOPパートナー及び東京2020スポンサー

2021年3月22日

TOPパートナー(令和3年3月22日時点)

	パートナー	カテゴリー
1	Coca-Cola	ノンアルコール飲料
2	Airbnb	ユニークな宿泊施設/ユニークな体験サービス/オリンピックによる体験サービス
3	Alibaba	クラウド・インフラストラクチャー/クラウド・サービス/Eコマース・プラットフォーム・サービス
4	Atos	インフォメーションテクノロジー
5	Bridgestone	タイヤ/タイヤ・自動車サービス/自転車(電動・モーターアシスト除く)/ 免震ゴム・樹脂配管システム等の化工品
6	Dow Chemical	化学品及び原料
7	GE	発電・送配電システム/医療用画像診断・情報システム/照明機器およびシステム/ 輸送管理システム/鉄道輸送システム/航空機エンジン/オイル&ガス設備/水処理システム
8	Intel	プロセッサー/シリコンプラットフォーム/ドローン(パブリックセーフティ目的のドローンを除く)
9	OMEGA	時計(例:腕時計、置時計、公式カウントダウンクロック)/計時システム・サービス/ 電子計時/計測/スコアボードシステム・サービス
10	Panasonic	テレビ/PC/放送用・プロ用を含む音響・映像機器/AV記録メディア/カーナビゲーションシステム/ 関連のカーエンターテインメント機器/AVセキュリティ関連機器/白物家電/電動自転車
11	P&G	パーソナルケア/家事製品
12	Samsung	ワイヤレスコミュニケーション機器/タブレット及びその周辺機器/携帯電話
13	TOYOTA	モビリティ(車両、モビリティサービス、モビリティサポートロボット)
14	VISA	決済サービス

※上記は全て、日本国内のカテゴリー

TOKYO 2020

東京2020スポンサー(令和3年3月22日時点)

○ゴールドパートナー

	発表日	企業名	カテゴリー
1	平成27年1月26日(月)	日本電信電話株式会社(NTT)	通信サービス
2	1月27日(火)	アサヒビール株式会社	ビール&ワイン、チューハイ(焼酎ベース)
3	2月18日(水)	キャノン株式会社	スチルカメラおよびデスクトップ・プリンター
4	2月19日(木)	日本電気株式会社(NEC)	パブリックセーフティ先進製品(生体認証、行動検知・解析、ドローン)、ネットワーク製品(SDN、有線ネットワーク、無線ネットワーク)、業務用無線システム
5	2月19日(木)	富士通株式会社	データセンターハードウェア
6	3月18日(水)	ENEOS株式会社	石油、ガス、電気供給
7	3月20日(金)	東京海上日動火災保険株式会社	損害保険
8	3月20日(金)	日本生命保険相互会社	生命保険
9	3月25日(水)	野村ホールディングス株式会社	証券
10	4月6日(月)	株式会社アシックス	スポーツ用品(スポーツアパレル及び競技用具)
11	4月14日(火)	株式会社みずほフィナンシャルグループ	銀行
12	4月14日(火)	株式会社三井住友フィナンシャルグループ	銀行
13	4月20日(月)	三井不動産株式会社	不動産開発
14	10月16日(金)	株式会社明治	乳製品、菓子
15	11月26日(木)	株式会社LIXIL	住宅設備部材及び水回り備品

TOKYO 2020

東京2020スポンサー(令和3年3月22日時点)

○パラリンピックゴールドパートナー

IOCと契約するオリンピックTOPパートナーのうち、東京2020パラリンピック競技大会の権利を取得しているパートナー

	発表日	企業名	カテゴリー
1	※	Atos	インフォメーションテクノロジー
2	※	OMEGA	時計(例:腕時計、置時計、公式カウントダウンクロック)、計時システム・サービス、電子計時、計測、スコアボードシステム・サービス
3	平成28年3月10日(木)	Bridgestone	タイヤ、タイヤ・自動車サービス、自転車(電動・モーターアシスト除く)、免震ゴム・樹脂配管システム等の化工品
4	平成28年8月25日(木)	Panasonic	テレビ、PC、放送用・プロ用を含む音響・映像機器、AV記録メディア、カーナビゲーションシステム、関連のカーエンターテインメント機器、AVセキュリティ関連機器、白物家電、電動自転車、福祉関連商品(福祉用バスルーム、福祉用洗面台、Theシャワー、福祉用ホームエレベーター)、パワーアシストスーツ
5	平成29年6月12日(月)	TOYOTA	モビリティ(車両、モビリティサービス、モビリティサポートロボット)、リハビリテーションロボット、ウェアブルロボット
6	平成30年8月24日(金)	P&G	パーソナルケア及びハウスホールドケア製品
7	※	Alibaba	クラウド・インフラストラクチャー/クラウド・サービス/Eコマース・プラットフォーム・サービス
8	平成30年12月25日(火)	Coca-Cola	ノンアルコール飲料
9	平成31年4月15日(月)	VISA	決済サービス
10	令和2年2月21日(金)	Samsung	ワイヤレスコミュニケーション機器/タブレット及びその周辺機器/携帯電話

※アトス、オメガは、マーケティングプラン契約(東京2020とIOCの間で2014年11月14日に締結)により、東京パラリンピック競技大会の権利付与
※アリババは、IOCとの契約により、東京パラリンピック競技大会の権利付与

東京2020スポンサー(令和3年3月22日時点)

○オフィシャルパートナー(1/2)

	発表日	企業名	カテゴリー
1	平成27年6月15日(月)	全日本空輸株式会社	旅客航空輸送サービス
2	6月15日(月)	日本航空株式会社	旅客航空輸送サービス
3	7月27日(月)	東京ガス株式会社	ガス・ガス公共サービス
4	8月10日(月)	ヤマトホールディングス株式会社	荷物輸送サービス
5	8月20日(木)	日本郵政株式会社	郵便
6	10月20日(火)	セコム株式会社	セキュリティサービス&プランニング
7	10月20日(火)	総合警備保障株式会社	セキュリティサービス&プランニング
8	平成28年1月22日(金)	株式会社読売新聞東京本社	新聞
9	1月22日(金)	株式会社朝日新聞社	新聞
10	1月22日(金)	株式会社日本経済新聞社	新聞
11	1月22日(金)	株式会社毎日新聞社	新聞
12	2月24日(水)	TOTO株式会社	水回り備品
13	2月29日(月)	三菱電機株式会社	エレベーター、エスカレーター、ムービングウォーク
14	3月28日(月)	味の素株式会社	調味料、乾燥スープ、アミノ酸ベース顆粒、冷凍食品、 コーヒー豆、インスタントコーヒー/粉・顆粒
15	3月31日(木)	KNT-CTホールディングス株式会社	旅行業務およびナショナルトリップホスピタリティサービス
16	3月31日(木)	株式会社JTB	旅行業務およびナショナルトリップホスピタリティサービス
17	3月31日(木)	東武トップツアーズ株式会社	旅行業務およびナショナルトリップホスピタリティサービス

TOKYO 2020

東京2020スポンサー(令和3年3月22日時点)

○オフィシャルパートナー(2/2)

	発表日	企業名	カテゴリー
18	平成28年4月15日(金)	キッコーマン株式会社	ソース(しょうゆ含む)、酢、みりん、料理酒
19	4月27日(水)	株式会社エアウィーヴ	寝具
20	6月7日(火)	東京地下鉄株式会社	旅客鉄道輸送サービス
21	6月7日(火)	東日本旅客鉄道株式会社	旅客鉄道輸送サービス
22	6月9日(木)	シスコシステムズ合同会社	ネットワーク製品
23	6月23日(木)	日清食品ホールディングス株式会社	カップ麺、袋麺、チルド麺、冷凍麺
24	7月5日(火)	イー・エフ・エデュケーション・ ファースト・ジャパン株式会社	語学トレーニング
25	7月29日(金)	大和ハウス工業株式会社	施設建設&住宅開発
26	10月31日(月)	大日本印刷株式会社	印刷サービス
27	10月31日(月)	凸版印刷株式会社	印刷サービス
28	平成29年5月30日(火)	株式会社リクルート	人材サービス&オンライン学習及び教育サービス
29	10月27日(金)	アース製薬株式会社	家庭用殺虫剤、虫よけ、肥料、培養土及び除草剤
30	平成30年2月6日(火)	久光製薬株式会社	外用鎮痛消炎剤
31	平成31年2月22日(金)	成田国際空港株式会社	空港サービス
32	2月22日(金)	日本空港ビルディング株式会社	空港サービス

○パラリンピックオフィシャルパートナー

IOCと契約するオリンピックTOPパートナーのうち、東京2020パラリンピック競技大会の権利を取得しているパートナー

	発表日	企業名	カテゴリー
1	令和2年1月28日(火)	Airbnb	ユニークな宿泊施設/ユニークな体験サービス/ オリンピックによる体験サービス

TOKYO 2020

東京2020スポンサー(令和3年3月22日時点)

○オフィシャルサポーター(1/2)

	発表日	企業名	カテゴリ
1	平成30年1月1日(祝)	株式会社産業経済新聞社	新聞
2	1月1日(祝)	株式会社北海道新聞社	新聞
3	1月17日(水)	株式会社パソナグループ	人材サービス
4	4月13日(金)	丸大食品株式会社	ハム、ソーセージ、ウインナー、ベーコン、魚肉ソーセージ、かまぼこ、ローストポーク、スペアリブ
5	6月4日(月)	株式会社乃村工藝社	内部空間・展示空間のデザイン、設計、施工
6	8月3日(金)	パーク24株式会社	駐車場サービス
7	8月30日(木)	コクヨ株式会社	オフィス家具 & 文具
8	10月3日(水)	株式会社ECC	オフライン語学トレーニングサービス
9	10月11日(木)	株式会社AOKIホールディングス	ビジネス&フォーマルウェア
10	10月17日(水)	清水建設株式会社	施設建設・土木
11	12月3日(月)	オットーボック	治療用医療器具、リハビリ及びモビリティヘルスケア製品(義肢、装具、車いす含む)、外骨格装置 ※パラリンピック権利のみ
12	12月6日(木)	株式会社モリサワ	フォントデザイン & 開発サービス
13	12月14日(金)	Aggreko Events Services Japan 株式会社	仮設電源サービス
14	平成31年2月20日(水)	TANAKAホールディングス株式会社	貴金属・宝飾品

TOKYO 2020

東京2020スポンサー(令和3年3月22日時点)

○オフィシャルサポーター(2/2)

	発表日	企業名	カテゴリ
15	平成31年4月10日(水)	株式会社KADOKAWA	書籍及び雑誌の出版サービス
16	令和元年5月31日(金)	ヤフー株式会社	インターネットにおける情報及びナビゲーションサービス (Web/Appまたはインターネットの検索エンジンシステムおよびサービス、インターネットベースのナビゲーション及び地図サービス、オンラインにおける周辺施設情報案内サービス、気象および災害警報情報の提供サービス)
17	令和元年6月27日(木)	グーグル合同会社	インターネットにおける情報及びナビゲーションサービス (Web/Appまたはインターネットの検索エンジンシステムおよびサービス、インターネットベースのナビゲーション及び地図サービス、バーチャルまたはインテリジェントパーソナルアシスタントシステムおよびサービス、インターネットベースの翻訳システムおよびサービス、オンラインにおける周辺施設情報案内サービス)
18	令和元年10月28日(月)	EY Japan株式会社	プロフェッショナルサービス(監査、財務、税務、プロジェクトマネジメント、企画・運営管理コンサルティング)
19	令和元年11月15日(金)	株式会社ボストン・コンサルティング・グループ	プロフェッショナルサービス(戦略コンサルティング、プロジェクトマネジメント、企画・運営管理コンサルティング)
20	令和2年1月27日(月)	テクノジム	フィットネス機器
21	令和2年7月22日(水)	東武タワースカイツリー株式会社	東京スカイツリーの電波塔および展望台の運営・管理

TOKYO 2020